
幼児の教育・保育に関する調査
報告書

令和 7 年 3 月

井原市

目次

I 調査概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 実施概要	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の見方	1
5. 調査項目	2
II 調査結果の概要.....	3
1. 回答者の概要	3
2. 幼稚園に通う子どもの状況	4
3. 保育園に通う子どもの状況	4
4. 未就園・小規模保育事業所等に通う子どもの状況	5
5. 幼稚園・保育園等への期待	5
6. 公立就学前教育・保育施設の方針検討にあたり重視すること	5
7. 認定こども園に対する期待と不安	6
8. 本調査結果から得られた考察.....	6
III 調査結果.....	7
1. 回答者の属性	7
(1) 地区	7
(2) 家族構成.....	8
(3) 就学前の子どもの人数.....	8
2. 就学前の子どもについて	9
(1) 子どもの年齢	9
(2) 子どもの所属.....	9
3. 幼稚園に通う子どもについて	10
(1) 幼稚園入園にあたり見学・検討した施設.....	10
(2) 幼稚園入園までの状況	12
(3) 幼稚園入園まで自宅で保育していた理由	13
(4) 保育園・小規模保育事業所等から幼稚園に入園した理由.....	14
(5) 現在通園している幼稚園を選んだ理由.....	16
(6) 幼稚園における預かり保育への要望.....	18
(7) 幼稚園が統廃合された場合の通園意向.....	19
(8) 幼稚園が統廃合された場合の送迎の可否	21

4. 保育園に通う子どもについて	22
(1) 保育園入園にあたり見学・検討した施設	22
(2) 所属しているクラス	23
(3) 3歳児になった場合の幼稚園通園意向	24
(4) 幼稚園ではなく保育園に通園している理由	25
(5) 現在通園している保育園を選んだ理由	27
5. 未就園・小規模保育事業所等に通う子どもについて	29
(1) 入園を希望する施設	29
(2) 施設の選択において重視すること	31
(3) 幼稚園を利用する場合の預かり保育の利用意向	33
(4) 幼稚園における預かり保育への要望	35
(5) 幼稚園が統廃合された場合の通園意向	37
6. 幼稚園・保育園等に期待されること	38
(1) 幼稚園・保育園等に期待すること	38
(2) 適当だと思う1クラスの園児数	40
(3) 公立就学前教育・保育施設の方針検討にあたり重視すべきこと	41
(4) 認定こども園となった場合に期待すること・不安に思うこと	43
IV 調査依頼状と調査票	47

I 調査概要

1. 調査の目的

井原市の就学前教育・保育施設の今後のあり方を検討するにあたり、就学前の子どもがいる家庭を対象に就学前教育・保育に関する考えなどを把握し、施策の方向性を検討するための基礎資料とするために調査を実施しました。

2. 実施概要

調査対象	ア. 幼稚園児がいる世帯 イ. 保育園児がいる世帯 ウ. 上記ア、イ以外の世帯	152 世帯 650 世帯 198 世帯
調査期間	令和 7(2025)年 2 月 4 日～2 月 28 日	
調査方法	ア. 幼稚園児がいる世帯 イ. 保育園児がいる世帯 ウ. 上記ア、イ以外の世帯	幼稚園を通じて調査依頼状を配布・インターネット回答 保育園を通じて調査依頼状を配布・インターネット回答 調査依頼状を郵送配布・インターネット回答

3. 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
1,000 件	454 件	45.4%

4. 報告書の見方

- 回答は、各質問の回答者数(母数=n)を基数とした百分率(%)で示しています。小数点第 2 位を四捨五入しているため、比率の合計が 100.0%を前後することがあります。
- 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0%を超えることがあります。なお、複数回答を求める質問についての図表上の表記は、以下のとおりです。
「MA%」(Multiple Answer)=回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
「3LA%」(3 Limited Answer)=回答選択肢のなかからあてはまるものを 3 つ以内で選択する場合
- クロス集計表で母数が少ない場合は分析を省略しています。
- 表内において、**上位 1 位**、**上位 2 位**には色付けをしています。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けています。
- クロス集計表の分析軸(表側項目)は不明・無回答があるため、分類ごとのn数を合計しても全体のn数と一致しないことがあります。

5. 調査項目

設問		対象	回答者数
問 1	地区	全保護者	454
問 2	家族構成		454
問 3	就学前の子どもの人数		454
問 4	子どもの年齢(生年月)	就学前の子ども	631
問 5	子どもの所属		631
問 6	幼稚園入園にあたり見学・検討した施設	幼稚園に通園している子ども	110
問 7	幼稚園入園までの状況		110
	幼稚園入園まで自宅で保育していた理由		73
	保育園・小規模保育事業所等から幼稚園に入園した理由		36
問 8	現在通園している幼稚園を選んだ理由		110
問 9	幼稚園における預かり保育への要望		110
問 10	幼稚園が統廃合された場合の通園意向		110
問 11	幼稚園が統廃合された場合の送迎の可否		110
問 12	保育園入園にあたり見学・検討した施設	保育園に通園している子ども	341
問 13	所属しているクラス		341
	3 歳児になった場合の幼稚園通園意向		140
	幼稚園ではなく保育園に通園している理由		189
問 14	現在通園している保育園を選んだ理由		341
問 15	入園を希望する施設	未就園・市内小規模保育事業所等に通園している子ども	180
問 16	施設の選択において重視すること		180
問 17	幼稚園を利用する場合の預かり保育の利用意向		180
問 18	幼稚園における預かり保育への要望	幼稚園への入園を希望する子ども	57
問 19	幼稚園が統廃合された場合の通園意向		57
問 20	幼稚園・保育園等に期待すること	全保護者	454
問 21	適当だと思う 1 クラスの園児数		454
問 22	公立就学前教育・保育施設の方針検討にあたり重視すべきこと		454
問 23	認定こども園となった場合に期待すること		454
	認定こども園となった場合に不安に思うこと		454

Ⅱ 調査結果の概要

1. 回答者の概要

【回収状況】

- 今回調査における配布数と回収数の内訳は下表のとおりです。対象者母集団の施設別構成比と回答者の末子が通う施設の構成比を比べると、幼稚園は母集団の構成比と同割合ですが、保育園が母集団構成比より約12%少なく、未就園が約12%多くなっています。末子が未就園世帯の回収率が高く、関心の高さがうかがえます。

	合計	幼稚園	保育園	未就園	その他
(母集団) 配布数内訳	1,000	152	650	198	
	100.0%	15.2%	65.0%	19.8%	
回収数内訳	454	69	241	141	3
	100.0%	15.2%	53.1%	31.1%	0.7%
施設別回収率	45.4%	45.4%	37.1%	71.2%	-

※配布数は、同じ施設にきょうだいで通う場合は1世帯として調査票を配布し、きょうだいが別々の施設に通う場合は、それぞれの施設を通じて配布した。実調査対象世帯数は976世帯である。

回収数内訳は、末子の状況による。

【子どもの所属施設】

- 所属施設(教育・保育)(図表1)をみると、全体では、保育のみ利用している世帯の割合は57.6%、未就園の割合が19.8%、教育のみ利用している割合は19.4%、教育・保育を利用している割合は2.6%となっています。教育・保育の両方を利用している世帯では、いずれも第1子が教育、第2子以降が保育を利用しています。
- 子どもの人数別に所属施設をみると、2人の場合は、保育のみ利用している世帯の割合は65.9%で全体よりも多くなっています。

【図表1 子どもの所属施設(教育・保育)】

		(単位:上段 人、下段 %)												
	全体	未就園	0～2歳児保育・未就園	3歳児以上保育・未就園	0～2歳児保育・未就園	3歳児以上保育・未就園	0～2歳児保育・未就園	3歳児以上保育・未就園	0～2歳児保育・未就園	3歳児以上保育・未就園	教育のみ利用	教育のみ利用	教育・保育を利用	不明・無回答
全体	454 100.0	90 19.8	18 4.0	9 2.0	3 0.7	73 16.1	107 23.6	51 11.2	19 4.2	69 15.2	2 0.4	9 2.0	1 0.2	3 0.7
子どもの人数	1人	297 100.0	73 24.6	-	-	-	66 22.2	93 31.3	-	62 20.9	-	-	-	3 1.0
	2人	138 100.0	17 12.3	16 11.6	9 6.5	-	7 5.1	14 10.1	45 32.6	13 9.4	7 5.1	9 6.5	1 0.7	-
	3人	18 100.0	-	2 11.1	-	3 16.7	-	-	5 27.8	6 33.3	-	2 11.1	-	-
	4人	1 100.0	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-
		未就園	保育のみ利用					教育のみ利用			教育・保育を利用			

【図表 2 教育と保育を利用している世帯(12世帯)の状況】

No.	子どもの人数	第1子		第2子		第3子	
1	3人	3歳児	市内幼稚園	1歳児	市内小規模保育事業所	0歳児(2024年度生まれ)	未就園
2	3人	4歳児	市内幼稚園	1歳児	市内小規模保育事業所	0歳児(2024年度生まれ)	未就園
3	2人	4歳児	市内幼稚園	1歳児	市内小規模保育事業所		
4	2人	3歳児	市内幼稚園	2歳児	市内小規模保育事業所		
5	2人	3歳児	市内幼稚園	1歳児	市内小規模保育事業所		
6	2人	3歳児	市内幼稚園	1歳児	市外保育園・認定こども園等		
7	2人	4歳児	市内幼稚園	1歳児	市外保育園・認定こども園等		
8	2人	3歳児	市内幼稚園	0歳児(2023年度生まれ)	市外保育園・認定こども園等		
9	2人	4歳児	市内幼稚園	2歳児	市内保育園		
10	2人	3歳児	市内幼稚園	0歳児(2023年度生まれ)	市内保育園		
11	2人	4歳児	市内幼稚園	2歳児	市内保育園		
12	2人	5歳児	市内幼稚園	3歳児	市内保育園		

2. 幼稚園に通う子どもの状況(詳細:P10～P21)

- 幼稚園入園時に保育園も検討した割合は全体で3割、5歳児では約4割となっています。幼稚園入園まで保育園・小規模保育事業所等に通っていた場合は「市内保育園」を約半数が検討しています。(P10 図表 8)
- 幼稚園入園までの状況は、「自宅保育」が66.4%、「保育園・小規模保育事業所等に通っていた」が32.7%となっています。(P12 図表 9)
- 自宅保育の主な理由は、「3歳までは自分で子育てをしたかったから」(75.3%)ですが、保育園入園の要件を満たしていない、保育園に空きがないなどの理由をあげる人もみられています。(P13 図表 10)
- 保育園・小規模保育事業所等から幼稚園に入園した理由では、「幼稚園の方が教育・保育内容が優れていると思ったから」と「2歳児までが対象の施設に通っていたため、3歳児からは幼稚園に入園するしかなかったから」が同じ割合(41.7%)となっています。(P14 図表 11)
- 現在通園している幼稚園を選んだ理由は、「自宅から近いから」(72.7%)が突出して多く、「小学校に就学した際、戸惑いが少なくなるように生活を工夫しているから」(30.9%)が次いで多くなっています。(P16 図表 12)

また、幼稚園が統廃合された場合でも幼稚園に通わせると回答した人(住まいの校区内に幼稚園があれば通わせる、校区外で遠くなくても通わせる、のどちらかに回答)は、「小学校に就学した際、戸惑いが少なくなるように生活を工夫しているから」の割合が多い傾向です。

- 「住んでいる地域の小学校区内に幼稚園がなくても、(家から少し遠いところにあっても)幼稚園に通わせる」と回答したのは16人で、全員、幼稚園が統廃合された場合も送迎できると回答しています。このうち7人は三世帯世帯となっています。(P19 図表 14)

3. 保育園に通う子どもの状況(詳細:P22～P28)

- 保育園入園にあたり、「市内幼稚園」を検討した割合は7.0%となっています。(P22 図表 16)
- 保育園に通う0～2歳児のうち3歳になったら幼稚園への通園意向があるのは7.1%となっています。(P24 図表 18)

- 保育園に通わせている理由としては、「仕事のために子どもを預けなくてはならないから」(91.5%)に次いで「幼稚園の開園時間や預かり保育の時間(18 時まで)では、仕事に支障が生じるから」(33.3%)、「子どもが大人数の集団の中で生活できるから」(24.9%)が多くなっています。(P25 図表 19)
- 現在の保育園を選んだ理由では「職場への通勤途中にあり、利便性がよいから」(51.3%)が最も多くなっています。(P27 図表 20)

4. 未就園・小規模保育事業所等に通う子どもの状況(詳細:P29~P37)

- 希望する施設は、「市内保育園」が 62.2%、「市内幼稚園」が 31.7%となっています。0歳児(2024 年度生まれ)では、「市内保育園」が 77.9%と多くなっています。(P29 図表 21)
- 年齢が低くなるほど、「市内保育園」の希望が多く、「市内幼稚園」の希望が少ない傾向です。「市内保育園」以外の保育施設を含むと、0歳児(2024 年度生まれ)84.4%、0歳児(2023 年度生まれ)71.7%、1 歳児 53.3%が保育施設を希望しています。
- 施設選択の重視点は、「園の環境や保育内容がわが子に合っている」(51.7%)、「自宅から近い」(46.1%)、「先生の態度や対応が安心できる」(40.0%)が上位にあげられています。(P31 図表 22)
- 入園を希望する施設にかかわらず、仮に市内の公立幼稚園を利用する場合の預かり保育の利用意向を尋ねると 76.7%となっています。入園を希望する施設が市内幼稚園の場合では、利用意向は 80.7%となっています。(P33 図表 23)
- 入園を希望する施設が市内幼稚園である人の預かり保育への要望は、「長期休業中の給食の提供」(43.9%)が突出して多くなっています。(P35 図表 24)
- 入園を希望する施設が市内幼稚園である人で、市内の公立幼稚園が統廃合された場合も通園意向があるのは 84.2%(57 人中 48 人)となっています。(P37 図表 25)

5. 幼稚園・保育園等への期待(詳細:P38~P40)

- 全体では、「心や体を動かし、しっかりと遊ぶ教育・保育活動」(79.3%)、「家庭では体験できない、社会・文化・自然などに触れ、世界を広げる」(71.4%)、「集団活動による人間関係づくり」(66.7%)が上位にあげられています。(P38 図表 26)
- 市内幼稚園と市内保育園を比べると、幼稚園では「小学校就学を意識した教育・保育活動」「地域の様々な人との交流」の期待がやや大きく、保育園では「心や体を動かし、しっかりと遊ぶ教育・保育活動」に対する期待が大きい傾向がみられます。
- 適当だと思う1クラスの園児数は、全体では「10~20 人程度」(71.4%)、「5~10 人程度」(19.6%)、「20~30 人程度」(9.0%)の順となっています。(P40 図表 27)
- 未子の所属が市内幼稚園と市内保育園の人を比べると、保育園では「10~20 人程度」(80.0%)と「20~30 人程度」(11.2%)を合わせると9割を超えるのに対して、幼稚園では、「5~10 人程度」(41.8%)と「10~20 人程度」(49.3%)の割合が拮抗しています。

6. 公立就学前教育・保育施設の方針検討にあたり重視すること(詳細:P41~P42)

- 「教育・保育内容の充実・向上」(49.3%)、「子育て関連施設(子どもの遊び場、子育て相談の場等)の充実」(35.0%)、「子どもたちの活動に必要なクラスの人数・集団規模」(29.1%)、「就労に合わせた長時間の預かりなど保育卒の充実・拡大」(24.2%)、「保護者の就労状況に関係なく通える認定こども園への移行」(23.8%)が上位にあげられています。(P41 図表 28)

7. 認定こども園に対する期待と不安(詳細:P43～P46)

- 期待することでは、「3歳児以上は、誰でも通うことができるため、保護者が仕事を始めたり辞めたりしても子どもは同じ園に通い続けることができる」(53.5%)、「教育・保育の質(内容)の向上」(41.6%)、「クラスの幼児数が増え、子どもの社会性が身に付く」(34.8%)の順に多くなっています。(P43 図表 29)
- 不安に思うことでは、「クラスの幼児数が増え、子どもと先生の関わりが希薄になる」(45.8%)、「教育・保育の質(内容)の低下」(32.4%)が多くあげられています。(P45 図表 30)
- 末子の所属別にみると、市内幼稚園の人の方が市内保育園の人よりも、期待と不安の両方が大きい様子がうかがえます。

8. 本調査結果から得られた考察

【幼稚園に通わせている保護者の状況】

- 幼稚園に通わせている保護者は、現在の1クラスの園児数が少ないことにより教員の目が行き届き、きめ細やかな教育・保育の実践につながっていると感じている様子がうかがえ、適当だと思う1クラスの園児数が保育園に通わせている保護者よりも少ない傾向です。
- また、「小学校就学を意識した教育・保育活動」「地域の様々な人との交流」への期待が相対的に大きいことから、地域で見守られながら子どもが育つ校区制の良さを感じて、幼稚園を選択している様子がうかがえます。
- 公立幼稚園の統廃合による影響が大きいことから、仮に認定こども園にする場合は期待と不安の両方が相対的に大きい傾向がうかがえています。

【保育園に通わせている保護者の状況】

- 保育園に通わせる理由は、仕事との両立が前提となっており、そのため現在の保育園を選んだ理由として約半数の人が「職場への通勤途中にあり、利便性がよいから」をあげています。
- 就学前教育・保育施設に期待することは、「心や体を動かし、しっかりと遊ぶ教育・保育活動」が相対的に多く、1クラスの園児数は一定数以上多いほうがよいと思っていることがうかがえます。

【未就園児の保護者の状況】

- 末子の年齢が低いほど、保育施設への入園を希望する割合が高いことから、今後、保育施設入園者の割合が高まることが予想されます。
- 一方で、幼稚園入園を希望する人も一定数みられ、幼稚園の預かり保育の時間内であれば、就労継続が可能となることから、幼稚園に入園させた場合はほとんどの人が預かり保育の利用を希望しています。

【公立幼稚園統廃合の方向性の検討にあたり】

- 統廃合によるメリットとデメリット、それぞれの地域の状況など、校区ごとの統廃合による影響を、できる限り詳細に分析し、わかりやすく市民に示すことが必要です。
- 教育・保育内容や施設の充実とともに、子ども達の活動に必要なクラスの人数、集団規模に重点を置いて検討する必要があります。

Ⅲ 調査結果

1. 回答者の属性

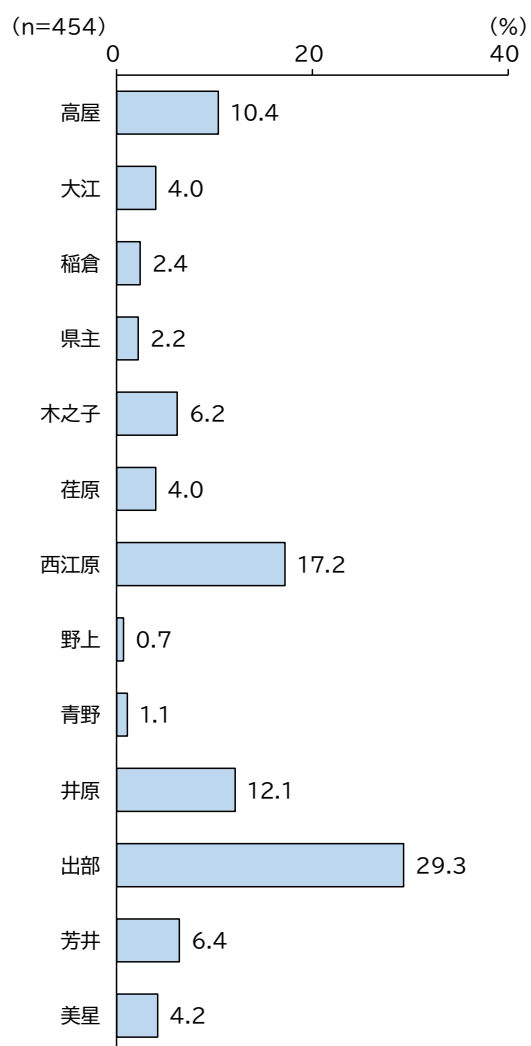
(1) 地区

問1 あなたがお住まいの地区

【全体】

- 地区(図表3)について、「出部」が29.3%で最も多く、次いで「西江原」が17.2%、「井原」が12.1%となっています。

【図表 3 地区】

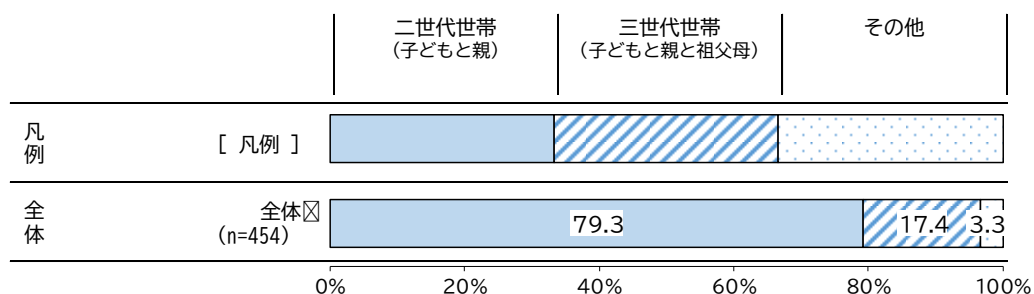


(2)家族構成

問2 家族構成

- 家族構成(図表4)について、「二世世代世帯(子どもと親)」が79.3%で最も多く、次いで「三世世代世帯(子どもと親と祖父母)」が17.4%、「その他」が3.3%となっています。

【図表 4 家族構成】

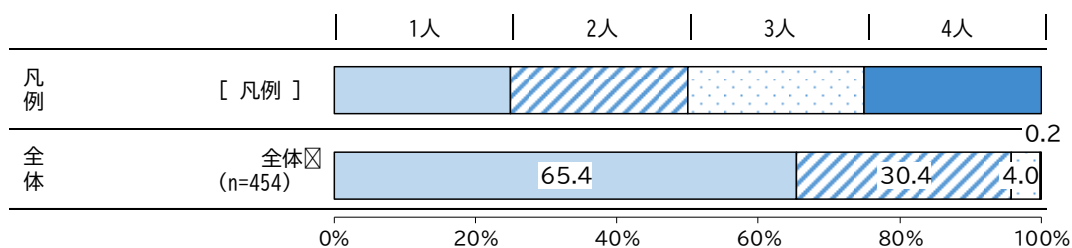


(3)就学前の子どもの人数

問3 就学前のお子さんの人数は何人ですか。

- 就学前の子どもの人数(図表5)について、「1人」が65.4%で最も多く、次いで「2人」が30.4%、「3人」が4.0%、4人が0.2%となっています。

【図表 5 就学前の子どもの人数】



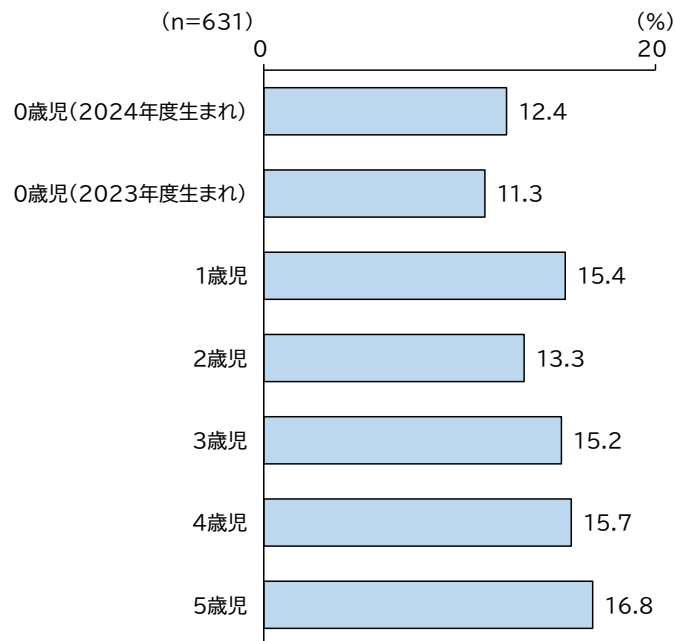
2. 就学前の子どもについて

(1) 子どもの年齢

問4 就学前でお子さんの生まれ年・生まれ月

- 子どもの年齢(図表6)について、「5歳児」が16.8%で最も多く、次いで「4歳児」が15.7%、「1歳児」が15.4%となっています。

【図表 6 子どもの年齢】

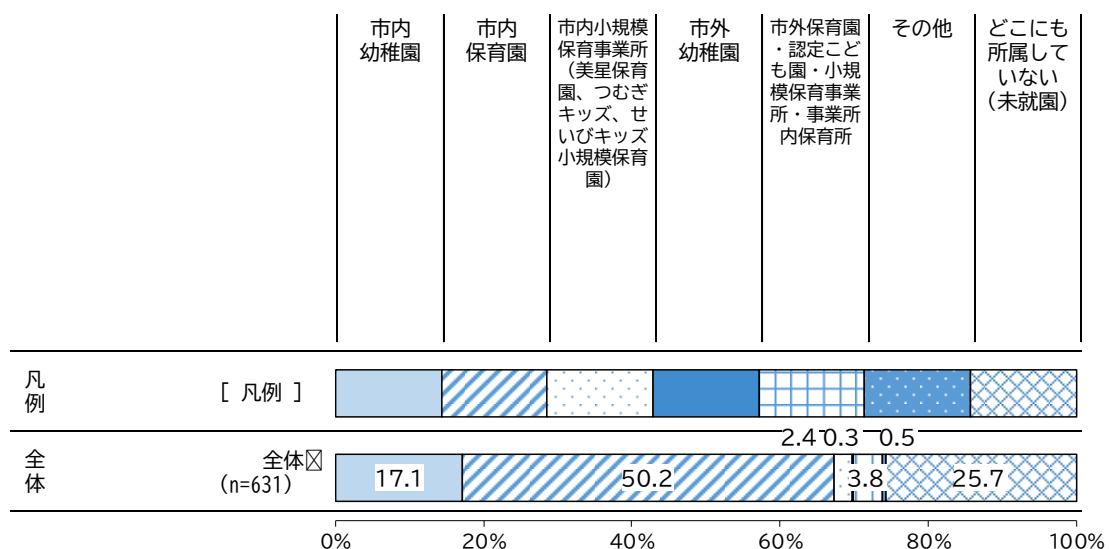


(2) 子どもの所属

問5 お子さんの現在の所属

- 子どもの所属(図表7)について、「市内保育園」が50.2%で最も多く、次いで「どこにも所属していない(未就園)」が25.7%、「市内幼稚園」が17.1%となっています。

【図表 7 子どもの所属】



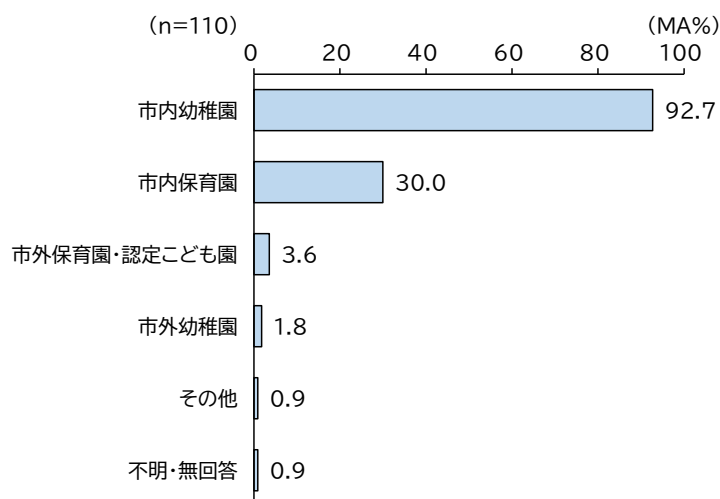
3. 幼稚園に通う子どもについて

(1) 幼稚園入園にあたり見学・検討した施設

問6 お子さんの入園にあたり、見学・検討した施設について該当するものをすべて選択してください。

- 幼稚園入園にあたり見学・検討した施設(図表8)について、「市内幼稚園」が92.7%で最も多く、次いで「市内保育園」が30.0%、「市外保育園・認定こども園」が3.6%となっています。
- 子どもの年齢別にみると、5歳児では「市内幼稚園」のほかに「市内保育園」を検討した割合が全体に比べて多くなっています。

【図表 8 幼稚園入園にあたり見学・検討した施設】



単位: %

		母数 (n)	幼稚園入園にあたり見学・検討した施設					
			市内幼稚園	市内保育園	市外幼稚園	市外保育園・認定こども園	その他	不明・無回答
全体		110	92.7	30.0	1.8	3.6	0.9	0.9
年齢別	3歳児	35	91.4	25.7	2.9	2.9	-	-
	4歳児	38	94.7	21.1	2.6	5.3	2.6	-
	5歳児	37	91.9	△ 43.2	-	2.7	-	2.7
地区別	高屋	9	▼ 77.8	△ 55.6	-	-	-	-
	大江	8	87.5	△ 50.0	-	-	-	-
	稲倉	2	100.0	-	-	-	-	-
	県主	4	100.0	25.0	-	△ 25.0	-	-
	木之子	3	100.0	△ 66.7	-	-	-	-
	荏原	6	100.0	33.3	-	-	-	-
	西江原	8	▼ 75.0	37.5	-	-	△ 12.5	12.5
	野上	-	-	-	-	-	-	-
	青野	3	100.0	△ 100.0	-	-	-	-
	井原	14	100.0	▼ 7.1	-	-	-	-
	出部	35	91.4	22.9	5.7	8.6	-	-
	芳井	7	100.0	△ 42.9	-	-	-	-
	美星	11	100.0	▼ 9.1	-	-	-	-

- 幼稚園入園までの状況別に検討した施設をみると、保育園・小規模保育事業所等に通っていた場合は「市内保育園」を約半数が検討しています。

単位: %

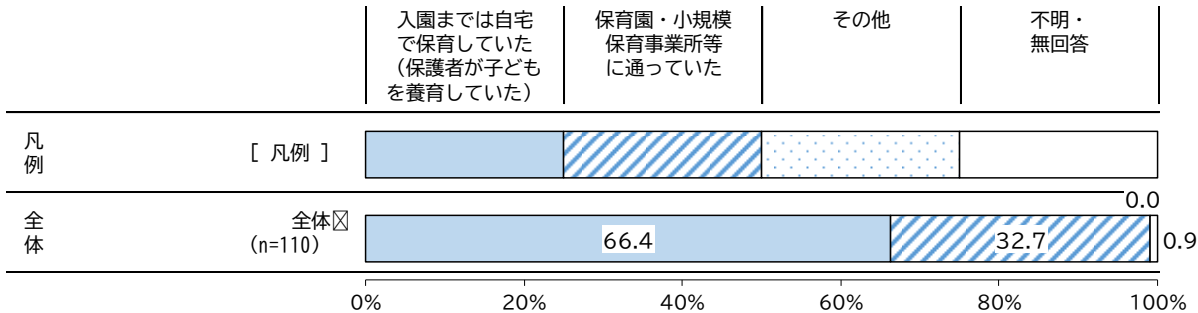
		母数 (n)	幼稚園入園にあたり見学・検討した施設				
			市内幼稚園	市内保育園	市外幼稚園	市外保育園・認定こども園	その他
全体		110	92.7	30.0	1.8	3.6	0.9
幼稚園入園までの状況別	入園までは自宅で保育していた (保護者が子どもを養育していた)	73	94.5	21.9	1.4	4.1	1.4
	保育園・小規模保育事業所等 に通っていた	36	91.7	△ 47.2	2.8	2.8	-
	その他	-	-	-	-	-	-

(2)幼稚園入園までの状況

問7 幼稚園入園までの状況についてお答えください。

- 幼稚園入園までの状況(図表9)について、「入園までは自宅で保育していた(保護者が子どもを養育していた)」が66.4%で最も多く、次いで「保育園・小規模保育事業所等に通っていた」が32.7%となっています。
- 子どもの年齢別にみると、4歳児では「入園までは自宅で保育していた(保護者が子どもを養育していた)」が78.9%で全体に比べて多くなっています。

【図表 9 幼稚園入園までの状況】



単位:%

		母数 (n)	幼稚園入園までの状況			
			入園までは自宅 で保育していた (保護者が子どもを 養育していた)	保育園・小規模 保育事業所等に 通っていた	その他	不明・無回答
全体		110	66.4	32.7	-	0.9
年 齢 別	3歳児	35	62.9	37.1	-	-
	4歳児	38	△ 78.9	▼ 21.1	-	-
	5歳児	37	56.8	40.5	-	2.7
地 区 別	高屋	9	△ 77.8	▼ 22.2	-	-
	大江	8	△ 87.5	▼ 12.5	-	-
	稲倉	2	△ 100.0	-	-	-
	県主	4	△ 100.0	-	-	-
	木之子	3	△ 100.0	-	-	-
	荏原	6	▼ 33.3	△ 66.7	-	-
	西江原	8	75.0	▼ 12.5	-	12.5
	野上	-	-	-	-	-
	青野	3	66.7	33.3	-	-
	井原	14	△ 92.9	▼ 7.1	-	-
	出部	35	60.0	40.0	-	-
	芳井	7	57.1	△ 42.9	-	-
美星	11	▼ 18.2	△ 81.8	-	-	

幼稚園入園まで、自宅で保育をしていた理由を選択してください。(複数選択可)

- 幼稚園入園まで自宅で保育していた理由(図表10)について、「3歳までは自分で子育てをしたかったから」が75.3%で最も多く、次いで「保育園に通園できる要件を満たしていないため入園できなかったから」が21.9%、「保育園に空きがなく、入園できなかったから」が9.6%となっています。
- 子どもの年齢別にみると、5歳児では「3歳までは自分で子育てをしたかったから」が85.7%で全体に比べて多くなっています。

(n=73) (MA%)

理由	割合 (MA%)
3歳までは自分で子育てをしたかったから	75.3
保育園に通園できる要件を満たしていないため入園できなかったから	21.9
保育園に空きがなく、入園できなかったから	9.6
保育園に通うための費用(体操服や教材など)がかかるから	6.8
保育園までの送迎ができないから	1.4
その他	6.8
不明・無回答	1.4

その他記入内容
下の子の育休中で、母親が家にいたため。
幼稚園に通わせなかったから。

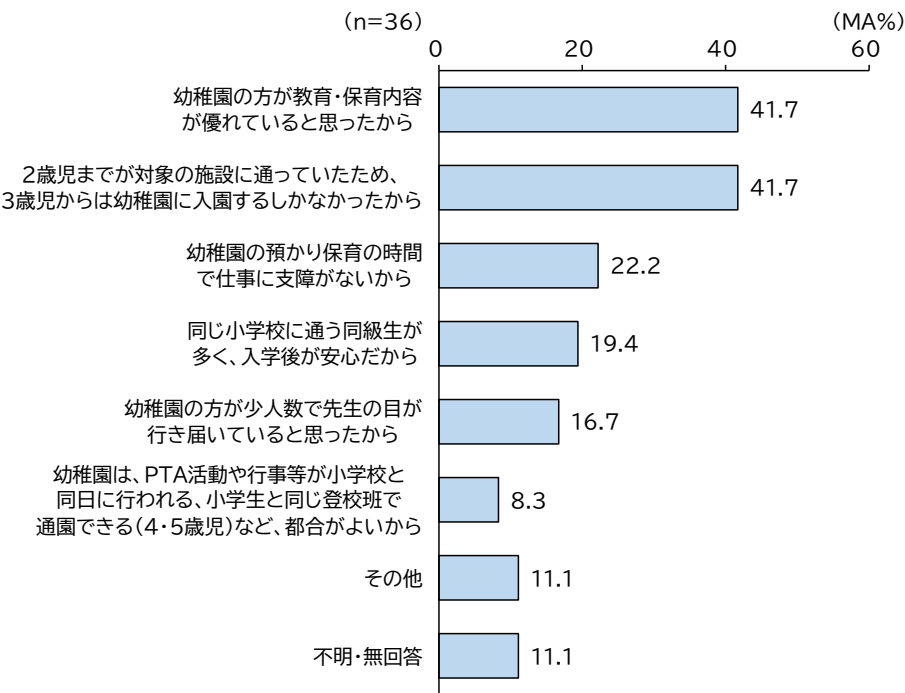
13

(4)保育園・小規模保育事業所等から幼稚園に入園した理由

問7で2を選んだ方に質問します。
保育園・小規模保育事業所等から幼稚園に入園した理由を選択してください。(複数選択可)

- 保育園・小規模保育事業所等から幼稚園に入園した理由(図表11)について、「幼稚園の方が教育・保育内容が優れていると思ったから」「2歳児までが対象の施設に通っていたため、3歳児からは幼稚園に入園するしかなかったから」が41.7%で最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育の時間で仕事に支障がないから」が22.2%、「同じ小学校に通う同級生が多く、入学後が安心だから」が19.4%となっています。

【図表 11 保育園・小規模保育事業所等から幼稚園に入園した理由】



その他記入内容
市外からの転入のため。
無償化されたから。
上の子が幼稚園に通っていてとても良かったので、同じ幼稚園に通わせたかったから。

単位: %

単位：%

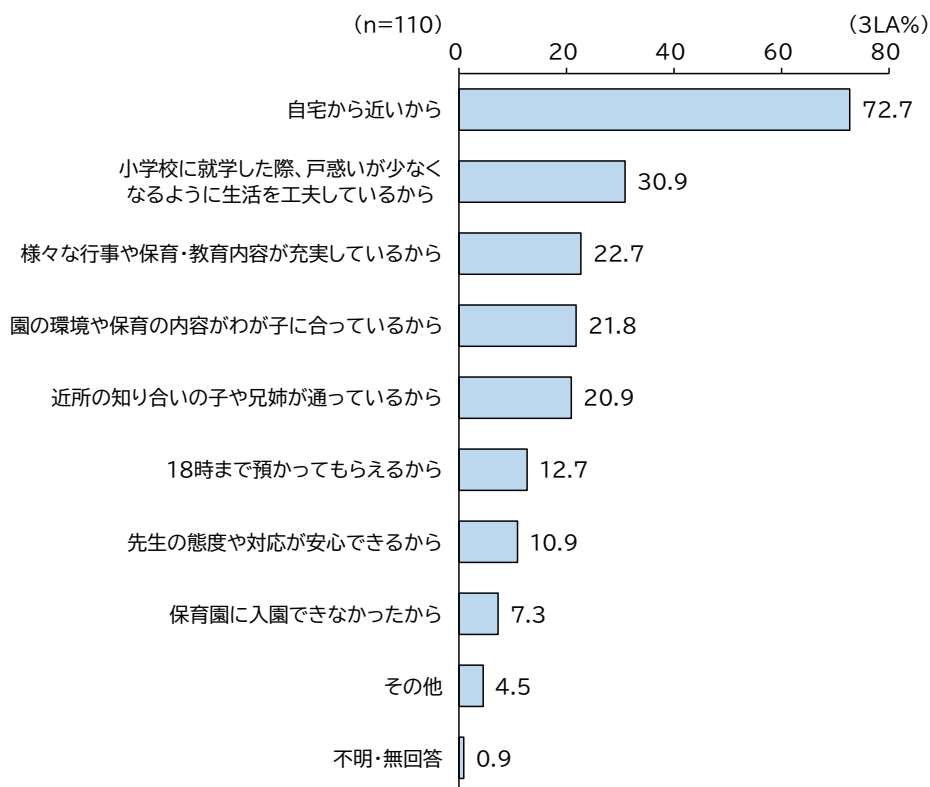
		母数 □ (n)	保育園・小規模保育事業所等から幼稚園に入園した理由								
			て幼稚園 園の方が 教育・保 育内容が 優れ	き幼稚園 園の方が 少人数で 先生の目 が行	すた2歳 児までが 対象の施 設に通っ て園	児登校 と同日に 行われる 、小・中 生と同じ	幼稚園は 、PTA活 動や行事 等が小	学同 じ小学 校に通 う同級 生が多 く、入	支障 がない から保 育の時 間で仕 事に	その他	不明・ 無回答
全体		36	41.7	16.7	41.7	8.3	19.4	22.2	11.1	11.1	
年 齢 別	3歳児	13	▼ 30.8	7.7	△ 61.5	-	▼ 7.7	15.4	7.7	15.4	
	4歳児	8	△ 62.5	25.0	37.5	-	25.0	25.0	-	-	
	5歳児	15	40.0	20.0	▼ 26.7	△ 20.0	26.7	26.7	20.0	13.3	
	高屋	2	-	-	50.0	-	-	-	△ 50.0	50.0	
地 区 別	大江	1	△ 100.0	-	-	-	-	-	-	-	
	稲倉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	県主	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	木之子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	荏原	4	50.0	25.0	▼ 25.0	△ 25.0	△ 75.0	△ 50.0	△ 25.0	-	
	西江原	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
	野上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	青野	1	△ 100.0	△ 100.0	-	-	-	-	-	-	
	井原	1	△ 100.0	△ 100.0	-	-	-	△ 100.0	-	-	
	出部	14	△ 57.1	14.3	▼ 28.6	-	21.4	△ 35.7	14.3	7.1	
	芳井	3	△ 66.7	△ 33.3	-	△ 33.3	-	-	-	33.3	
	美星	9	-	-	△ 100.0	11.1	11.1	-	-	-	

(5)現在通園している幼稚園を選んだ理由

問8 お子さんを通わせるのに、現在通園している幼稚園を選んだ理由について、特に重視したことを3つまで選択してください。

- 現在通園している幼稚園を選んだ理由(図表12)について、「自宅から近いから」が72.7%で最も多く、次いで「小学校に就学した際、戸惑いが少なくなるように生活を工夫しているから」が30.9%、「様々な行事や保育・教育内容が充実しているから」が22.7%となっています。

【図表 12 現在通園している幼稚園を選んだ理由】



- 子どもの年齢別にみると、4歳児では「自宅から近いから」が86.8%で全体に比べて多くなっています。

単位: %

		母数 □ (n)	現在通園している幼稚園を選んだ理由										不明・無回答
			自宅から近いから	18時まで預かってもらえるから	保育園に入園できなかったから	近所の知り合いの子や兄弟が通っているから	園の環境や保育の内容がわ	内容が充実しているから	先生の態度や対応が安心できるから	生活が工夫されているから	小学校に就学した際、戸惑いが少なくなるように	その他	
全体		110	72.7	12.7	7.3	20.9	21.8	22.7	10.9	30.9	4.5	0.9	
年 齢 別	3歳児	35	62.9	8.6	11.4	17.1	25.7	△ 40.0	14.3	22.9	2.9	-	
	4歳児	38	△ 86.8	5.3	-	28.9	18.4	15.8	7.9	28.9	2.6	-	
	5歳児	37	67.6	△ 24.3	10.8	16.2	21.6	13.5	10.8	40.5	8.1	2.7	
地 区 別	高屋	9	▼ 44.4	△ 33.3	△ 33.3	-	△ 44.4	△ 55.6	11.1	△ 44.4	11.1	-	
	大江	8	75.0	-	-	12.5	12.5	-	-	25.0	-	-	
	稲倉	2	△ 100.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0	-	-	-	-	-	-	
	県主	4	▼ 50.0	-	-	△ 75.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 25.0	△ 50.0	-	-	
	木之子	3	66.7	-	-	△ 33.3	△ 100.0	-	△ 33.3	△ 66.7	-	-	
	荏原	6	△ 100.0	16.7	-	△ 66.7	-	16.7	-	△ 83.3	-	-	
	西江原	8	75.0	-	-	12.5	-	▼ 12.5	-	-	12.5	12.5	
	野上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	青野	3	△ 100.0	△ 66.7	-	△ 33.3	-	-	-	33.3	△ 33.3	-	
	井原	14	▼ 57.1	7.1	-	14.3	△ 42.9	△ 35.7	△ 28.6	△ 50.0	-	-	
	出部	35	71.4	14.3	8.6	22.9	20.0	28.6	11.4	25.7	5.7	-	
	芳井	7	71.4	14.3	14.3	-	14.3	14.3	14.3	▼ 14.3	-	-	
美星	11	△ 100.0	-	-	▼ 9.1	-	-	-	▼ 9.1	-	-		

- 幼稚園が統廃合された場合の通園意向別にみると、統廃合されても幼稚園に通わせると回答した人（住まいの校区内に幼稚園があれば通わせる、校区外で遠くなくても通わせる、のどちらかに回答）は、「小学校に就学した際、戸惑いが少なくなるように生活を工夫しているから」を理由にあげる割合が多くなっています。

単位: %

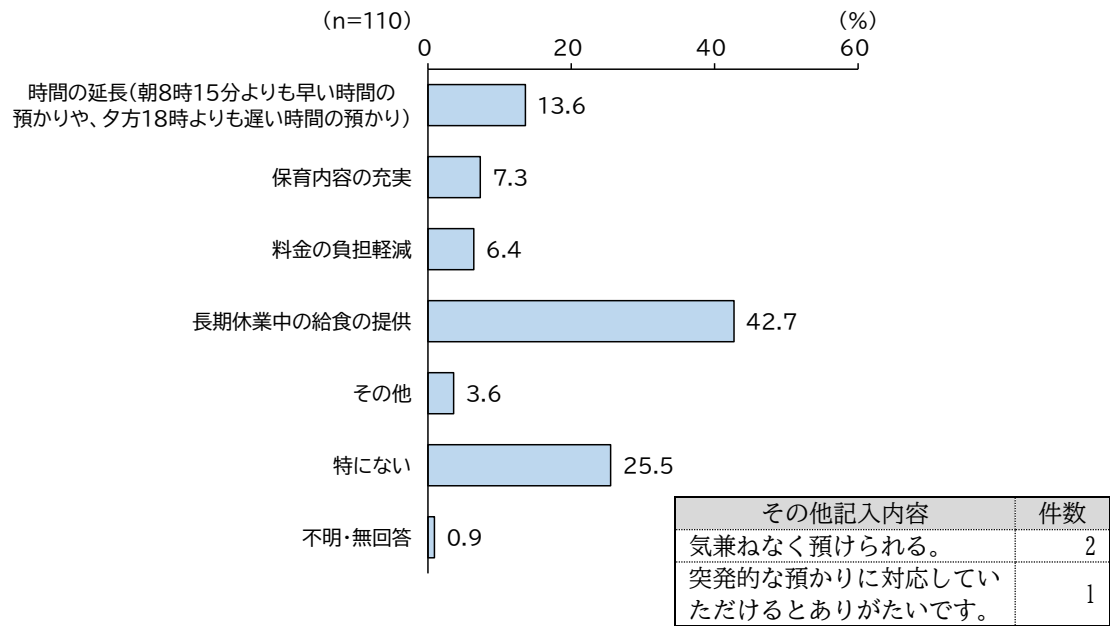
		母数	現在通										
			自宅から近いから	18時まで預かってもらえるから	保育園に入園できなかったから	近所の知り合いの子や兄弟が通っているから	園の環境や保育の内容がわが子に合っているから	様々な行事や保育・教育内容が充実しているから	先生の態度や対応が安心できるから	を工夫しているから	小学校に就学した際、戸惑いが少なくなるように生活	その他	不明・無回答
全体		110	72.7	12.7	7.3	20.9	21.8	22.7	10.9	30.9	4.5	0.9	
幼稚園が統廃合された場合の通園意向別	住んでいる地域の小学校区内に幼稚園があれば幼稚園に通わせる	60	76.7	20.0	3.3	20.0	21.7	23.3	16.7	35.0	3.3	-	
	住んでいる地域の小学校区内に幼稚園がなくても、(家から少し遠いところにあっても)幼稚園に通わせる	16	68.8	12.5	12.5	△ 37.5	31.3	△ 37.5	-	△ 56.3	-	-	
	保育園に通わせる	8	75.0	-	12.5	12.5	25.0	-	-	▼ 12.5	12.5	-	
	分からない	25	68.0	-	12.0	16.0	16.0	20.0	8.0	▼ 12.0	8.0	-	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(6)幼稚園における預かり保育への要望

問9 預かり保育の利用に関して、特に要望するものは何ですか。1つ選択してください。

- 幼稚園における預かり保育への要望(図表13)について、「長期休業中の給食の提供」が42.7%で最も多く、次いで「特にない」が25.5%、「時間の延長(朝8時15分よりも早い時間の預かりや、夕方18時よりも遅い時間の預かり)」が13.6%となっています。
- 子どもの年齢別による違いはほとんどみられません。

【図表 13 幼稚園における預かり保育への要望】



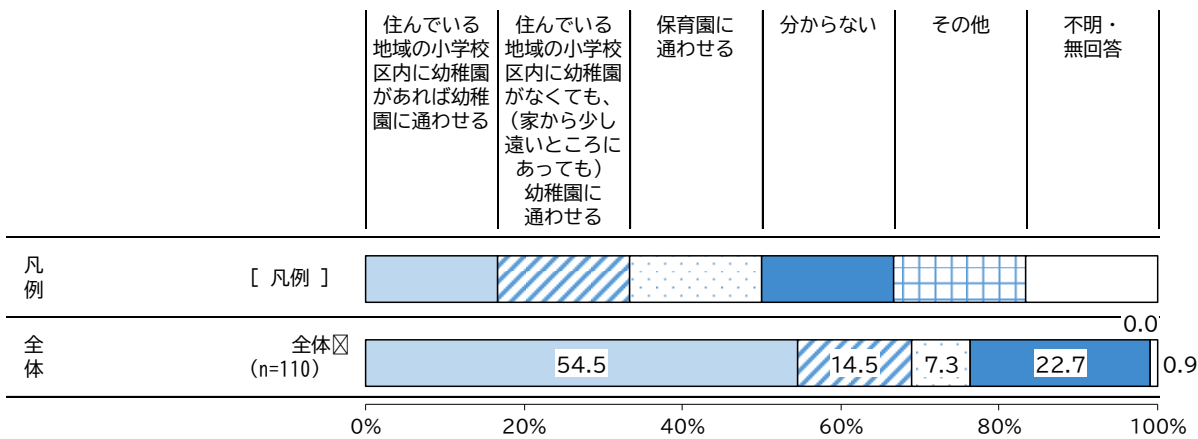
		幼稚園における預かり保育への要望							
		母数 (n)	預かり の延長 (朝8時15分よりも早い時間 の預かりや、夕方18時よりも遅い時間の預かり)	保育 内容の 充実	料金 の負担 軽減	長期 休業中 の給食 の提供	その他	特にな い	不明・ 無回答
全体		110	13.6	7.3	6.4	42.7	3.6	25.5	0.9
年齢別	3歳児	35	8.6	8.6	8.6	40.0	5.7	28.6	-
	4歳児	38	15.8	5.3	10.5	42.1	-	26.3	-
	5歳児	37	16.2	8.1	-	45.9	5.4	21.6	2.7
地区別	高屋	9	22.2	-	-	33.3	33.3	11.1	-
	大江	8	12.5	-	25.0	25.0	-	37.5	-
	稲倉	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-
	県主	4	-	25.0	-	50.0	-	25.0	-
	木之子	3	-	-	-	100.0	-	-	-
	荏原	6	-	-	16.7	66.7	16.7	-	-
	西江原	8	37.5	25.0	12.5	12.5	-	-	12.5
	野上	-	-	-	-	-	-	-	-
	青野	3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-
	井原	14	7.1	-	7.1	28.6	-	57.1	-
	出部	35	11.4	11.4	2.9	48.6	-	25.7	-
	芳井	7	28.6	-	-	28.6	-	42.9	-
	美星	11	-	-	9.1	63.6	-	27.3	-

(7)幼稚園が統廃合された場合の通園意向

問10 今通っている幼稚園が統廃合されたとしても幼稚園に通いますか。
※現在5歳児(年長)のお子さんの場合は、今そうなった場合と仮定してお答えください。

- 幼稚園が統廃合された場合の通園意向(図表14)について、「住んでいる地域の小学校区内に幼稚園があれば幼稚園に通わせる」が54.5%で最も多く、次いで「分からない」が22.7%、「住んでいる地域の小学校区内に幼稚園がなくても、(家から少し遠いところにあっても)幼稚園に通わせる」が14.5%となっています。
- 子どもの年齢別にみると、年齢が低くなるほど「分からない」が多く、3歳児では34.3%となっています。

【図表 14 幼稚園が統廃合された場合の通園意向】



単位: %

		母数 (n)	幼稚園が統廃合された場合の通園意向					不明・無回答
			園住 が あ で い る 地 域 の 小 学 校 区 内 に 幼 稚 園 に 通 わ せ る	こ 園 住 ろ が な い と あ く い る 地 域 の 小 学 校 区 内 に 幼 稚 園 に 通 わ せ る	保 育 園 に 通 わ せ る	分 か ら な い	そ の 他	
全体		110	54.5	14.5	7.3	22.7	-	0.9
年 齢 別	3歳児	35	45.7	20.0	-	△ 34.3	-	-
	4歳児	38	57.9	7.9	7.9	26.3	-	-
	5歳児	37	59.5	16.2	13.5	▼ 8.1	-	2.7
地 区 別	高屋	9	▼ 44.4	22.2	11.1	22.2	-	-
	大江	8	▼ 37.5	-	12.5	△ 50.0	-	-
	稲倉	2	50.0	△ 50.0	-	-	-	-
	県主	4	50.0	△ 50.0	-	-	-	-
	木之子	3	△ 100.0	-	-	-	-	-
	荏原	6	50.0	16.7	16.7	16.7	-	-
	西江原	8	▼ 37.5	△ 25.0	-	25.0	-	12.5
	野上	-	-	-	-	-	-	-
	青野	3	△ 66.7	-	-	△ 33.3	-	-
	井原	14	△ 78.6	7.1	7.1	▼ 7.1	-	-
	出部	35	54.3	17.1	2.9	25.7	-	-
	芳井	7	▼ 42.9	14.3	△ 28.6	14.3	-	-
美星	11	54.5	-	9.1	△ 36.4	-	-	

- 幼稚園が統合された場合の送迎の可否別にみると、送迎できると回答した人は「住んでいる地域の小学校区内に幼稚園がなくても、(家から少し遠いところにあっても)幼稚園に通わせる」の割合が全体に比べて多くなっています。

単位: %

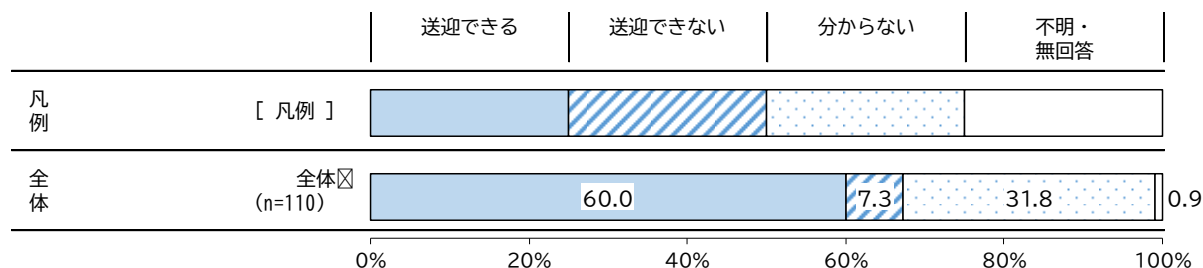
		母数 (n)	幼稚園が統廃合された場合の通園意向					
			が住 あんで れば いる 稚 園 地 域 の 小 学 校 区 内 に 幼 稚 園	にが住 あんで つて ても も、地 域の 稚 園 から少 学校区 内にと こ 稚 ろ 園	保 育 園 に 通 わ せ る	分 か ら ない	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体		110	54.5	14.5	7.3	22.7	-	0.9
幼稚園が統廃合された 場合の送迎の可否別	送迎できる	66	54.5	24.2	4.5	16.7	-	-
	送迎できない	8	▼ 37.5	-	△ 25.0	△ 37.5	-	-
	分からない	35	60.0	-	8.6	31.4	-	-

(8)幼稚園が統廃合された場合の送迎の可否

問11 今通っている幼稚園が統廃合され、家から離れた幼稚園に通うことになった場合、家族の誰かがお子さんの送迎をできますか。

- 幼稚園が統廃合された場合の送迎の可否(図表15)について、「送迎できる」が60.0%で最も多く、次いで「分からない」が31.8%、「送迎できない」が7.3%となっています。
- 子どもの年齢別にみると、3歳児では「分からない」が42.9%で全体に比べて多くなっています。
- 地区別にみると、大江、美星、井原、芳井で「送迎できない」の割合が多くなっています。

【図表 15 幼稚園が統廃合された場合の送迎の可否】



単位: %

		母数 (n)	幼稚園が統廃合された場合の送迎の可否			
			送迎 できる	送迎 できない	分 か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		110	60.0	7.3	31.8	0.9
年 齢 別	3歳児	35	51.4	5.7	△ 42.9	-
	4歳児	38	63.2	10.5	26.3	-
	5歳児	37	64.9	5.4	27.0	2.7
地 区 別	高屋	9	66.7	-	33.3	-
	大江	8	▼ 50.0	△ 25.0	25.0	-
	稲倉	2	△ 100.0	-	-	-
	県主	4	△ 75.0	-	25.0	-
	木之子	3	△ 100.0	-	-	-
	荏原	6	66.7	-	33.3	-
	西江原	8	▼ 50.0	-	37.5	12.5
	野上	-	-	-	-	-
	青野	3	66.7	-	33.3	-
	井原	14	▼ 50.0	14.3	35.7	-
	出部	35	68.6	2.9	28.6	-
	芳井	7	▼ 42.9	14.3	△ 42.9	-
	美星	11	▼ 36.4	△ 18.2	△ 45.5	-

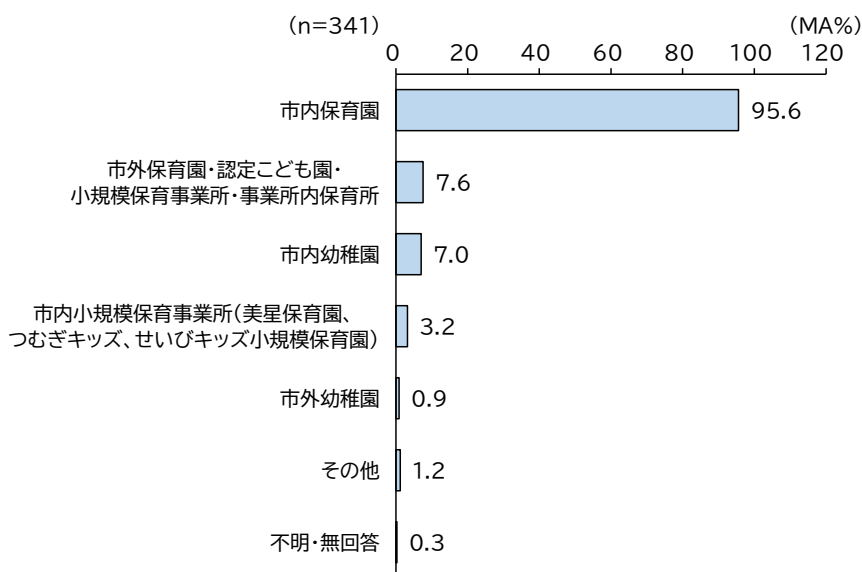
4. 保育園に通う子どもについて

(1) 保育園入園にあたり見学・検討した施設

問12 お子さんの入園にあたり、見学・検討した施設について該当するものをすべて選択してください。

- 保育園入園にあたり見学・検討した施設(図表16)について、「市内保育園」が95.6%で最も多く、次いで「市外保育園・認定こども園・小規模保育事業所・事業所内保育所」が7.6%、「市内幼稚園」が7.0%となっています。
- 子どもの年齢別による違いはほとんどみられません。

【図表 16 保育園入園にあたり見学・検討した施設】



単位:%

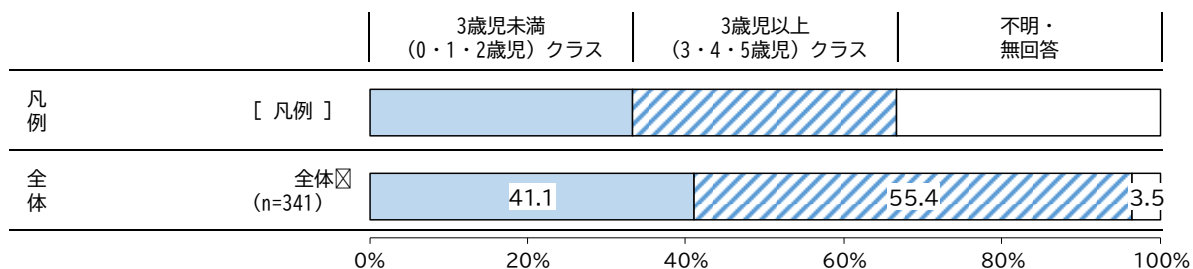
		母数 (n)	保育園入園にあたり見学・検討した施設						
			市内幼稚園	市内保育園	市内小規模保育事業所（美星キッズ小規模保育園）	市外幼稚園	市外小規模保育事業所・事業所内・保育所	その他	不明・無回答
全体		341	7.0	95.6	3.2	0.9	7.6	1.2	0.3
年齢別	0～2歳児	152	5.9	93.4	3.9	0.7	9.2	1.3	0.7
	3～5歳児	189	7.9	97.4	2.6	1.1	6.3	1.1	-
地区別	高屋	42	4.8	100.0	2.4	-	-	-	-
	大江	13	15.4	100.0	-	-	7.7	-	-
	稲倉	6	-	100.0	-	-	-	-	-
	県主	6	16.7	▼ 83.3	-	-	△ 33.3	-	-
	木之子	28	3.6	▼ 78.6	3.6	3.6	△ 21.4	7.1	-
	荏原	11	-	▼ 81.8	-	-	△ 18.2	-	-
	西江原	66	9.1	97.0	1.5	-	4.5	1.5	-
	野上	3	-	100.0	-	-	-	-	-
	青野	1	-	100.0	-	-	-	-	-
	井原	38	13.2	100.0	5.3	2.6	13.2	-	-
	出部	97	5.2	99.0	4.1	-	4.1	1.0	-
	芳井	25	4.0	96.0	4.0	4.0	4.0	-	4.0
美星	5	△ 20.0	▼ 60.0	△ 20.0	-	△ 40.0	-	-	

(2)所属しているクラス

問13 お子さんが所属しているクラスを選択してください

- 所属しているクラスに(図表17)ついて、「3 歳児未満(0・1・2 歳児)クラス」が 41.1%、「3 歳児以上(3・4・5 歳児)クラス」が 55.4%となっています。
- 地区別でみると、高屋、井原、芳井では「3歳児以上クラス」が多く、木之子では「3 歳児未満クラス」が多くなっています。

【図表 17 所属しているクラス】



単位:%

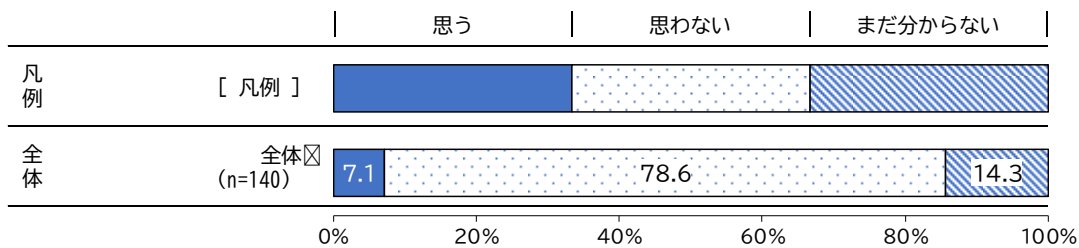
		所属しているクラス		
	母数 (n)	3 歳 児 未 満 (0 ・ 1 ・ 2 歳 児) ク ラ ス	3 歳 児 以 上 (3 ・ 4 ・ 5 歳 児) ク ラ ス	不 明 ・ 無 回 答
全体	341	41.1	55.4	3.5
別 年 齢				
0～2歳児	152	△ 92.1	-	7.9
3～5歳児	189	-	△100.0	-
地 区 別				
高屋	42	▼ 31.0	64.3	4.8
大江	13	▼ 30.8	△ 69.2	-
稲倉	6	▼ 16.7	50.0	33.3
県主	6	33.3	△ 66.7	-
木之子	28	△ 60.7	▼ 39.3	-
桂原	11	△ 54.5	▼ 27.3	18.2
西江原	66	42.4	57.6	-
野上	3	33.3	▼ 33.3	33.3
青野	1	△100.0	-	-
井原	38	▼ 28.9	△ 65.8	5.3
出部	97	48.5	50.5	1.0
芳井	25	▼ 28.0	△ 68.0	4.0
美星	5	40.0	▼ 40.0	20.0

(3)3歳児になった場合の幼稚園通園意向

問13で1を選んだ方にお尋ねします。
お子さんが3歳児以上になった時、幼稚園に通わせようと思いますか。

- 3歳児になった場合の幼稚園通園意向(図表18)について、「思わない」が78.6%で最も多く、次いで「まだ分からない」が14.3%、「思う」が7.1%となっています。
- 地区別にみると、荏原、西江原、井原、出部、美星で、3歳児になった場合に幼稚園通園意向のある人がいます。

【図表 18 3歳児になった場合の幼稚園通園意向】



単位：％

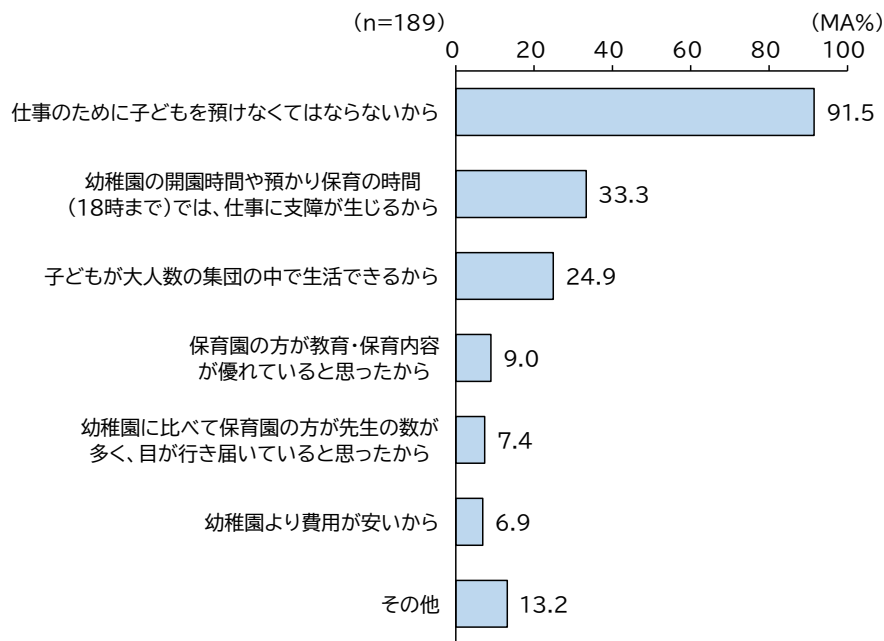
		母数 (n)	3歳児になった場合の幼稚園通園意向		
			思う	思わない	まだ分からない
全体		140	7.1	78.6	14.3
別年齢	0～2歳児	140	7.1	78.6	14.3
	3～5歳児	-	-	-	-
地区別	高屋	13	-	△ 92.3	7.7
	大江	4	-	75.0	△ 25.0
	稲倉	1	-	△100.0	-
	県主	2	-	▼ 50.0	△ 50.0
	木之子	17	-	△ 94.1	5.9
	荏原	6	16.7	83.3	-
	西江原	28	3.6	75.0	21.4
	野上	1	-	-	△100.0
	青野	1	-	△100.0	-
	井原	11	9.1	72.7	18.2
	出部	47	10.6	74.5	14.9
	芳井	7	-	△100.0	-
	美星	2	△100.0	-	-

(4)幼稚園ではなく保育園に通園している理由

問13で2を選んだ方にお尋ねします。
幼稚園ではなく、保育園に通っている理由を選択してください。(複数選択可)

- 幼稚園ではなく保育園に通園している理由(図表19)について、「仕事のために子どもを預けなくてはならないから」が91.5%で最も多く、次いで「幼稚園の開園時間や預かり保育の時間(18時まで)では、仕事に支障が生じるから」が33.3%、「子どもが大人数の集団の中で生活できるから」が24.9%となっています。
- 地区別にみると、高屋では「幼稚園の開園時間や預かり保育の時間(18時まで)では、仕事に支障が生じるから」が全体に比べて多くなっています。

【図表 19 幼稚園ではなく保育園に通園している理由】



その他記入内容	件数
0歳、1歳など3歳児未満から預けているから。	6
以前から通っていて、先生や保育園の生活に子どもがなれているため。	4
役員、PTA、保護者会がないから。	4
幼稚園はPTAの関係もあり、親も保育園の環境の方があっている。	3
平日の行事、親が参加する行事が少ない。	3
夏休み、冬休みなど長期休みの預け先、長期休みにも給食が出る。	3
家・祖父母宅から近い。	3
兄弟が通っている。	2
保育園の方が同級生が多いから、役員もすることがそんなにないから。	1
今通っている保育園の教員方針と保育内容が良いと思い希望を出しました。他と比べることはありませんでした。	1
親の出番が少ない、お弁当の日がすくない。働く親としてはとても助かる。	1

単位: %

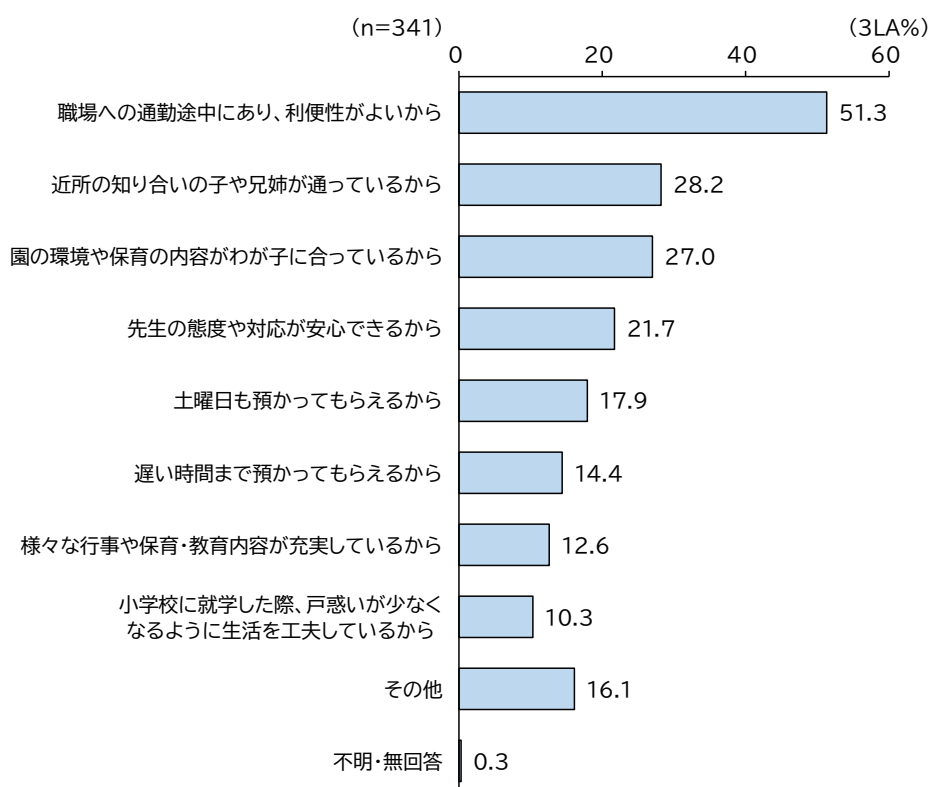
		母数 母数 (n)	幼稚園ではなく保育園に通園している理由								
			子どもが大人数の集団の中で生活できるから	仕事のために子どもを預けなくてはならないから	保育園の方が教育・保育内容が優れていると思ったから	幼稚園に比べて保育園の方が先生の数が多く、目が行き届いていると思ったから	幼稚園の開園時間や預かり保育の時間(18時まで)では、仕事に支障が生じるから	幼稚園より費用が安いから	その他		
全体		189	24.9	91.5	9.0	7.4	33.3	6.9	13.2		
年齢別	0～2歳児	-	-	-	-	-	-	-	-		
	3～5歳児	189	24.9	91.5	9.0	7.4	33.3	6.9	13.2		
地区別	高屋	27	29.6	85.2	11.1	11.1	△ 44.4	3.7	18.5		
	大江	9	33.3	88.9	11.1	-	33.3	11.1	11.1		
	稲倉	3	-	100.0	-	△ 33.3	△ 66.7	-	-		
	県主	4	△ 50.0	100.0	△ 50.0	△ 25.0	-	-	△ 25.0		
	木之子	11	△ 36.4	90.9	9.1	-	△ 54.5	-	9.1		
	荏原	3	33.3	100.0	-	-	33.3	-	-		
	西江原	38	34.2	97.4	5.3	7.9	▼ 10.5	7.9	5.3		
	野上	1	-	100.0	-	-	-	-	-		
	青野	-	-	-	-	-	-	-	-		
	井原	25	24.0	88.0	8.0	8.0	32.0	8.0	△ 28.0		
	出部	49	▼ 12.2	91.8	10.2	4.1	36.7	10.2	12.2		
芳井	17	23.5	88.2	5.9	11.8	△ 52.9	5.9	11.8			
美星	2	-	100.0	-	-	-	-	-			

(5)現在通園している保育園を選んだ理由

問14 お子さんを通わせるのに、現在通園している保育園を選んだ理由について、特に重視したことを3つまで選択してください。

- 現在通園している保育園を選んだ理由(図表20)について、「職場への通勤途中にあり、利便性がよいから」が51.3%で最も多く、次いで「近所の知り合いの子や兄姉が通っているから」が28.2%、「園の環境や保育の内容がわが子に合っているから」が27.0%となっています。
- 子どもの年齢別による違いはほとんどみられません。
- 地区別にみると、西江原では「職場への通勤途中にあり、利便性がよいから」が全体に比べて多くなっています。

【図表 20 現在通園している保育園を選んだ理由】



その他記入内容	件数
自宅から近い・学区内。	28
希望の保育園に入れなかった・入れたのが今通っている保育園だった。	7
開園時間が早い	3
公立の幼稚園は人数が少なかったので、3クラスある大きい幼稚園にしました。	1
途中から園を変更するのは子供も親も負担が大きいから。	1
やること(親の役)がない方がいい。	1
送り迎えしやすい立地。親の出番が少ない、お弁当の日が少ない。	1
最初は子どもが市内保育園に合わずに転園したが、現保育園は役員などもなくルールに縛られることもほとんどなくなり親も子どももストレスなく過ごせるようになった。	1

単位: %

			現在通園している保育園を選んだ理由									
		母数 (n)	が園 子に 環境 や保 育の 内容 がわ	え遅 い時 間ま で預 かっ ても ら	が近 所の 知り 合の 子や 兄姉	容様 が充 実し てい る保 育・ 教育 内	を小 学少 年が 少な く就 学し た際 に、 戸惑	利職 便場 への 通勤 途中 にあり、	き先 生の 態度 や対 応が 安心 で	か土 曜日も 預か って もら える	そ の 他	不 明・ 無回 答
全体		341	27.0	14.4	28.2	12.6	10.3	51.3	21.7	17.9	16.1	0.3
別 年 齢	0～2歳児	152	28.9	13.8	27.6	11.2	9.2	50.7	22.4	20.4	15.8	0.7
	3～5歳児	189	25.4	14.8	28.6	13.8	11.1	51.9	21.2	15.9	16.4	-
地 区 別	高屋	42	19.0	11.9	△ 50.0	4.8	7.1	57.1	21.4	26.2	7.1	-
	大江	13	23.1	7.7	△ 38.5	7.7	7.7	▼ 38.5	△ 38.5	23.1	7.7	-
	稲倉	6	△ 50.0	16.7	▼ 16.7	16.7	16.7	▼ 33.3	△ 33.3	16.7	△ 33.3	-
	県主	6	△ 50.0	16.7	33.3	△ 50.0	△ 33.3	▼ 33.3	△ 50.0	-	-	-
	木之子	28	25.0	▼ 3.6	32.1	14.3	△ 25.0	▼ 39.3	25.0	▼ 7.1	△ 32.1	-
	荏原	11	-	9.1	27.3	-	-	△ 63.6	-	18.2	△ 36.4	-
	西江原	66	24.2	16.7	24.2	13.6	19.7	△ 69.7	12.1	9.1	12.1	-
	野上	3	-	-	-	-	-	△ 100.0	-	-	-	-
	青野	1	△ 100.0	-	△ 100.0	-	-	-	△ 100.0	-	-	-
	井原	38	31.6	13.2	21.1	21.1	10.5	44.7	23.7	21.1	15.8	-
	出部	97	28.9	17.5	26.8	10.3	3.1	44.3	24.7	17.5	17.5	-
	芳井	25	△ 40.0	24.0	▼ 12.0	20.0	-	48.0	24.0	△ 32.0	16.0	4.0
美星	5	20.0	-	20.0	-	20.0	60.0	-	△ 60.0	20.0	-	

5. 未就園・小規模保育事業所等に通う子どもについて

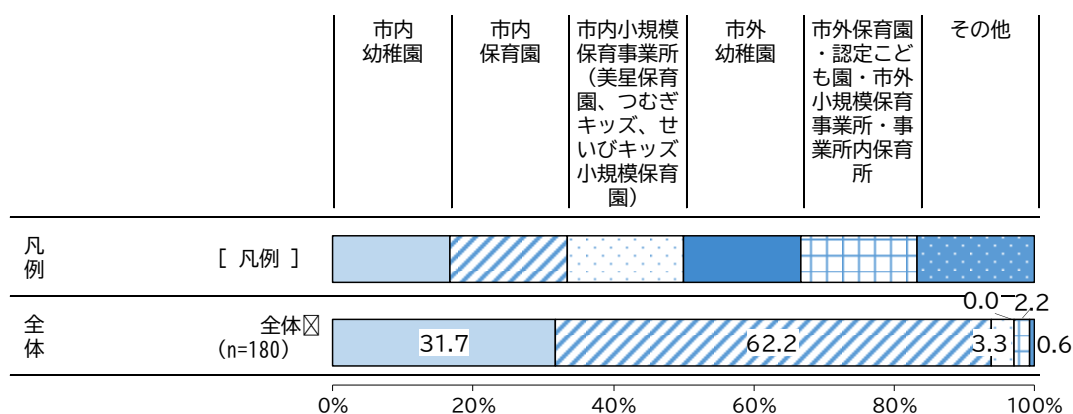
(1)入園を希望する施設

問15 お子さんの入園にあたり、あなたは次のどの施設を選びたいですか。1つ選択してください。

現在、お子さんが0～2歳で、小規模保育施設(美星保育園・つむぎキッズ・せいびキッズ小規模保育園)に通っている場合は、3歳児以降に入園する園を想定してください。

- 入園を希望する施設(図表21)について、「市内保育園」が62.2%で最も多く、次いで「市内幼稚園」が31.7%、「市内小規模保育事業所(美星保育園、つむぎキッズ、せいびキッズ小規模保育園)」が3.3%となっています。
- 子どもの年齢別にみると、0歳児(2023・2024 年度生まれ)では、「市内保育園」がそれぞれ77.9%、65.2%で全体より多くなっています。1歳児では「市内保育園」と「市内幼稚園」が46.7%の同割合で、2歳児では「市内幼稚園」が72.0%で多くなっています。年齢が低くなるほど、「市内保育園」の希望が多く、「市内幼稚園」の希望が少なくなる傾向がみられます。

【図表 21 入園を希望する施設】



単位: %

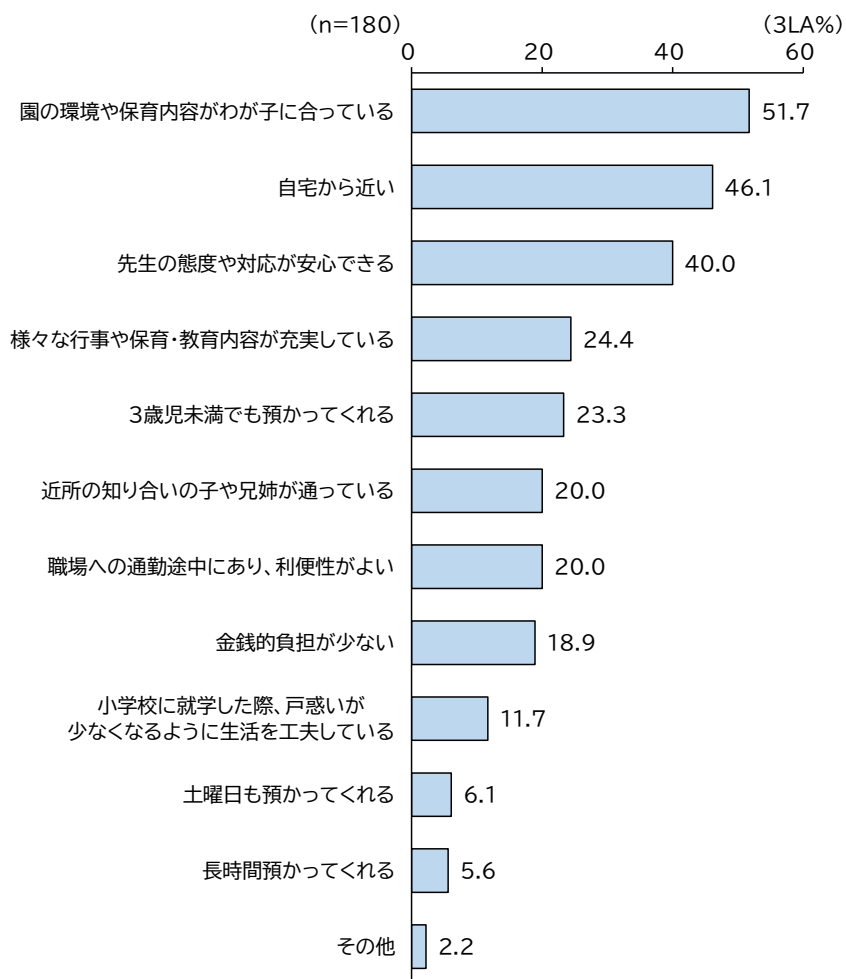
		母数 (n)	入園を希望する施設					
			市内幼稚園	市内保育園	市内小規模保育事業所（美星保育園、つむぎキッズ、小規模保育園）	市外幼稚園	市外小規模保育事業所・認定こども園・市内保育所	その他
全体		180	31.7	62.2	3.3	-	2.2	0.6
別	0～2歳児(小規模保育施設)	15	40.0	60.0	-	-	-	-
	0～2歳児(未就園)	162	30.9	63.0	3.7	-	2.5	-
年齢別	0歳児(2024年度生まれ)	77	▼ 15.6	△ 77.9	5.2	-	1.3	-
	0歳児(2023年度生まれ)	46	28.3	65.2	2.2	-	4.3	-
	1歳児	30	△ 46.7	▼ 46.7	3.3	-	3.3	-
	2歳児	25	△ 72.0	▼ 28.0	-	-	-	-
	高屋	20	30.0	65.0	5.0	-	-	-
地区別	大江	3	-	△ 100.0	-	-	-	-
	稲倉	7	▼ 14.3	△ 85.7	-	-	-	-
	県主	3	-	66.7	-	-	△ 33.3	-
	木之子	9	33.3	66.7	-	-	-	-
	荏原	5	40.0	60.0	-	-	-	-
	西江原	29	▼ 17.2	△ 79.3	-	-	3.4	-
	野上	-	-	-	-	-	-	-
	青野	1	-	△ 100.0	-	-	-	-
	井原	19	△ 52.6	▼ 26.3	10.5	-	5.3	5.3
	出部	67	35.8	64.2	-	-	-	-
	芳井	6	-	△ 83.3	-	-	△ 16.7	-
	美星	11	△ 54.5	▼ 18.2	△ 27.3	-	-	-

(2)施設の選択において重視すること

問16 問15の設問で選ぶ施設において、どのようなことを重視しますか。特に重視することを3つまで選択してください。

- 施設の選択において重視すること(図表22)について、「園の環境や保育内容がわが子に合っている」が51.7%で最も多く、次いで「自宅から近い」が46.1%、「先生の態度や対応が安心できる」が40.0%となっています。

【図表 22 施設の選択において重視すること】



その他記入内容
持ち物などの少なさ。手ぶら登園等の便利さ。
親が通っていたから。
手ぶら登園等の便利さ。
高屋に住んでいるため、高屋小学校の校区にある保育園に通わせたい。同じ校区の友達ができれば、小学校にあがる時に、子どもも安心して進学できると考える。

- 子どもの年齢別にみると、0歳児(2023 年度生まれ)と2歳児では「園の環境や保育内容がわが子に合っている」がそれぞれ 63.0%、64.0%と多くなっている一方で、0歳児(2024 年度生まれ)と1歳児では「自宅から近い」がそれぞれ 54.5%、50.0%で多くなっています。
- 地区別にみると、母数の最も多い出部では、「園の環境や保育内容がわが子に合っている」が 52.2%、「自宅から近い」が 46.3%で全体の傾向とほぼ同じとなっています。

単位: %

		母数 (n)	施設の選択において重視すること											
			が園 子に 合っ てい る	金 銭 的 負 担 が 少 な い	姉 近 所 の 知 り 合 い の 子 や 兄	内 容 が 充 実 し て い る	く 3 歳 児 未 満 で も 預 か つ て	生 活 を 工 夫 し て い る	小 学 校 に 就 学 し た 際、 戸	り 職 場 へ の 通 勤 途 中 に あ	自 宅 か ら 近 い	で 先 生 の 態 度 や 対 応 が 安 心	長 時 間 預 か つ て く れ る	土 曜 日 も 預 か つ て く れ る
別 類 型	全体	180	51.7	18.9	20.0	24.4	23.3	11.7	20.0	46.1	40.0	5.6	6.1	2.2
	0～2歳児(小規模保育施設)	15	60.0	▼6.7	▼6.7	▼6.7	▼13.3	13.3	△33.3	▼33.3	▼26.7	13.3	△26.7	△13.3
	0～2歳児(未就園)	162	50.6	19.1	21.6	26.5	24.7	11.7	19.1	46.9	42.0	4.9	4.3	1.2
年 齢 別	0歳児(2024年度生まれ)	77	▼40.3	18.2	26.0	15.6	32.5	7.8	23.4	54.5	40.3	6.5	3.9	-
	0歳児(2023年度生まれ)	46	△63.0	13.0	15.2	△34.8	23.9	17.4	21.7	▼32.6	45.7	2.2	6.5	2.2
	1歳児	30	50.0	20.0	13.3	33.3	16.7	13.3	▼10.0	50.0	40.0	6.7	13.3	3.3
	2歳児	25	△64.0	28.0	20.0	24.0	▼4.0	12.0	20.0	40.0	32.0	8.0	4.0	8.0
地 区 別	高屋	20	60.0	10.0	△30.0	30.0	20.0	-	-	45.0	△70.0	-	5.0	5.0
	大江	3	▼33.3	-	-	△66.7	△33.3	-	△33.3	△66.7	-	-	-	-
	稲倉	7	△71.4	14.3	28.6	▼14.3	28.6	-	28.6	-	△57.1	△42.9	14.3	-
	県主	3	△66.7	△66.7	-	△66.7	△33.3	-	△33.3	-	33.3	-	-	-
	木之子	9	▼33.3	△44.4	11.1	▼11.1	▼11.1	-	22.2	44.4	44.4	-	-	-
	荏原	5	60.0	20.0	-	-	△60.0	-	20.0	△60.0	40.0	△20.0	△20.0	-
	西江原	29	△62.1	10.3	13.8	△34.5	31.0	△24.1	27.6	48.3	34.5	3.4	3.4	-
	野上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	青野	1	-	-	-	△100.0	-	-	△100.0	△100.0	-	-	-	-
	井原	19	57.9	26.3	21.1	31.6	▼5.3	△26.3	15.8	52.6	42.1	-	-	-
	出部	67	52.2	16.4	23.9	20.9	22.4	11.9	17.9	46.3	40.3	6.0	9.0	4.5
	芳井	6	▼16.7	△33.3	△33.3	-	△50.0	-	△50.0	▼16.7	33.3	-	-	-
	美星	11	▼18.2	27.3	▼9.1	▼9.1	18.2	9.1	18.2	△72.7	-	9.1	9.1	-

- 入園を希望する施設別に施設選択において重視することをみると、希望する施設が市内幼稚園の人は、「金銭的負担が少ない」「様々な行事や保育・教育内容が充実している」「小学校に就学した際、戸惑いが少なくなるように生活を工夫している」が市内保育園を選ぶ人よりも多くなっています。一方、市内保育園を選んだ人は、「3歳未満でも預かってくれる」「職場への通勤途中にあり、利便性がよい」「先生の態度や対応が安心できる」が多くなっています。

単位: %

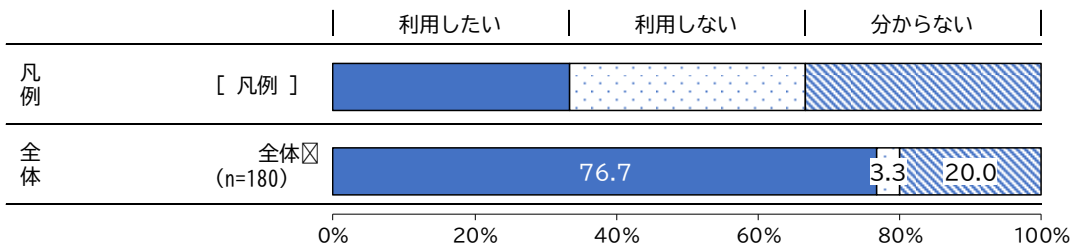
		母数 (n)	施設の選択において重視すること												
			が園 子に 合っ てい る	金 銭的 負担 が少 ない	姉 近所 の知 り合 い の 子 や 兄	様 々な 行事 や保 育・ 教育	く3 歳児 未 満 で も 預 か つ て	生 活を 工夫 して いる	小 学 校に 就学 した 際、 戸	り職 場へ の通 勤途 中 に あ	自 宅か ら 近 い	で先 生の 態度 や対 応が 安心	長 時 間 預 か つ て く れ る	土 曜 日 も 預 か つ て く れ る	そ の 他
全体		180	51.7	18.9	20.0	24.4	23.3	11.7	20.0	46.1	40.0	5.6	6.1	2.2	
入 園 を 希 望 す る 施 設 別	市内幼稚園	57	57.9	28.1	21.1	31.6	▼5.3	△26.3	▼8.8	49.1	▼29.8	7.0	-	1.8	
	市内保育園	112	49.1	12.5	21.4	21.4	32.1	4.5	25.9	42.9	46.4	5.4	9.8	2.7	
	市内小規模保育事業所 (美星保育園、つむぎキッズ、 せいびキッズ小規模保育園)	6	50.0	△50.0	-	-	△33.3	-	16.7	△100.0	▼16.7	-	-	-	
	市外幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	市外保育園・認定こども 園・市外小規模保育事業	4	▼25.0	25.0	-	△50.0	25.0	△25.0	25.0	▼25.0	△50.0	-	-	-	
	その他	1	△100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3)幼稚園を利用する場合の預かり保育の利用意向

問17 井原市の公立幼稚園を利用すると考えた場合、教育時間終了後や長期休業中の預かり保育を利用したいですか。(現在、教育時間終了後の概ね13時30分から18時まで、夏休み・冬休み・春休みは8時15分から18時まで実施。幼稚園に通っている場合、必要であれば誰でも利用できます。)

- 幼稚園を利用する場合の預かり保育の利用意向(図表23)について、「利用したい」が76.7%で最も多く、次いで「分からない」が20.0%、「利用しない」が3.3%となっています。
- 子どもの年齢別にみると、0歳児(2023 年度生まれ)以上の年齢ではいずれも「利用したい」が8割を超えています。

【図表 23 幼稚園を利用する場合の預かり保育の利用意向】



単位:%

		母数 (n)	幼稚園を利用する場合の預かり保育の利用意向		
			利用 したい	利用 しない	分 か ら ない
全体		180	76.7	3.3	20.0
別 類 型	0～2歳児(小規模保育施設)	15	80.0	-	20.0
	0～2歳児(未就園)	162	75.9	3.7	20.4
年 齢 別	0歳児(2024年度生まれ)	77	68.8	2.6	28.6
	0歳児(2023年度生まれ)	46	82.6	2.2	15.2
	1歳児	30	80.0	3.3	16.7
	2歳児	25	84.0	8.0	▼ 8.0
地 区 別	高屋	20	▼ 65.0	10.0	25.0
	大江	3	▼ 66.7	-	△ 33.3
	稲倉	7	85.7	-	14.3
	県主	3	▼ 66.7	△ 33.3	-
	木之子	9	▼ 55.6	11.1	△ 33.3
	荏原	5	80.0	-	20.0
	西江原	29	86.2	3.4	10.3
	野上	-	-	-	-
	青野	1	-	-	△ 100.0
	井原	19	△ 89.5	-	10.5
	出部	67	83.6	-	16.4
	芳井	6	▼ 16.7	△ 16.7	△ 66.7
	美星	11	▼ 63.6	-	△ 36.4

- 問 15 で入園を希望する施設に「市内幼稚園」を選んだ人(57 人)のうち 80.7%(46 人)が「利用したい」と回答しています。

単位: %

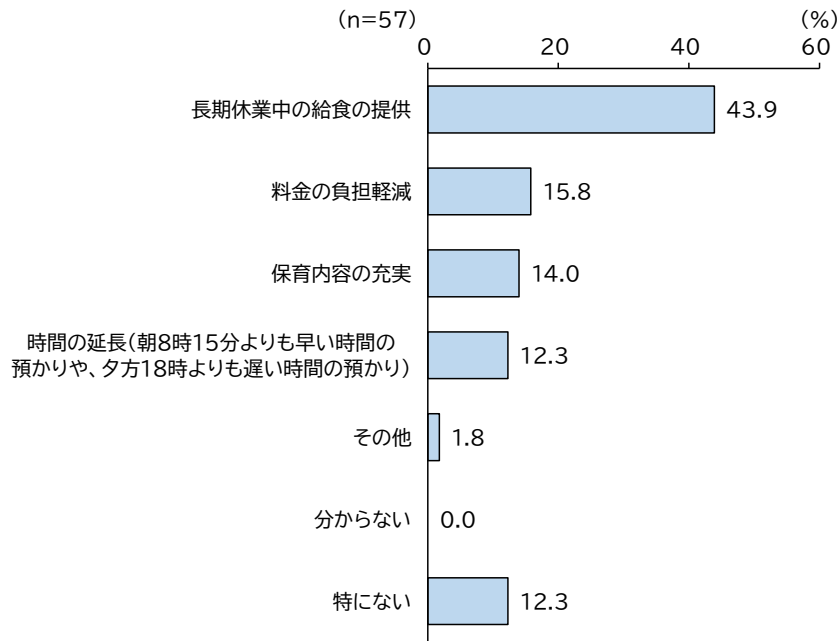
		母数 (n)	幼稚園を利用する場合の 預かり保育の利用意向		
			利用 したい	利用 しない	分 か ら ない
全体		180	76.7	3.3	20.0
入 園 を 希 望 す る 施 設 別	市内幼稚園	57	80.7	3.5	15.8
	市内保育園	112	74.1	2.7	23.2
	市内小規模保育事業所(美星保育園、 つむぎキッズ、せいびキッズ小規模保育園)	6	△100.0	-	-
	市外幼稚園	-	-	-	-
	市外保育園・認定こども園・市外小規模 保育事業所・事業所内保育所	4	▼ 50.0	△ 25.0	25.0
	その他	1	△100.0	-	-

(4)幼稚園における預かり保育への要望

問15で1の入園を希望する施設に「市内幼稚園」を選んだ方にお尋ねします。
問18 井原市の公立幼稚園の預かり保育の利用に関して、特に要望するものは何ですか。1つ選択してください。

- 入園を希望する施設に「市内幼稚園」を選んだ人の幼稚園における預かり保育への要望(図表24)について、「長期休業中の給食の提供」が43.9%で最も多く、次いで「料金の負担軽減」が15.8%、「保育内容の充実」が14.0%となっています。

【図表 24 幼稚園における預かり保育への要望】



その他記入内容
4月から入園予定の幼稚園は実際には預かり保育を利用されるお子さんが少ないため、自分の子供だけ預けるとかわいそうかなという不安がある。その場合は、預かり保育は、同じ町内の保育園にお願いする方が、子供が寂しくないのかなと悩みます。

- 子どもの年齢別にみると、0～2歳児(未就園)では、「料金の負担軽減」が18.0%で多くなっています。

単位: %

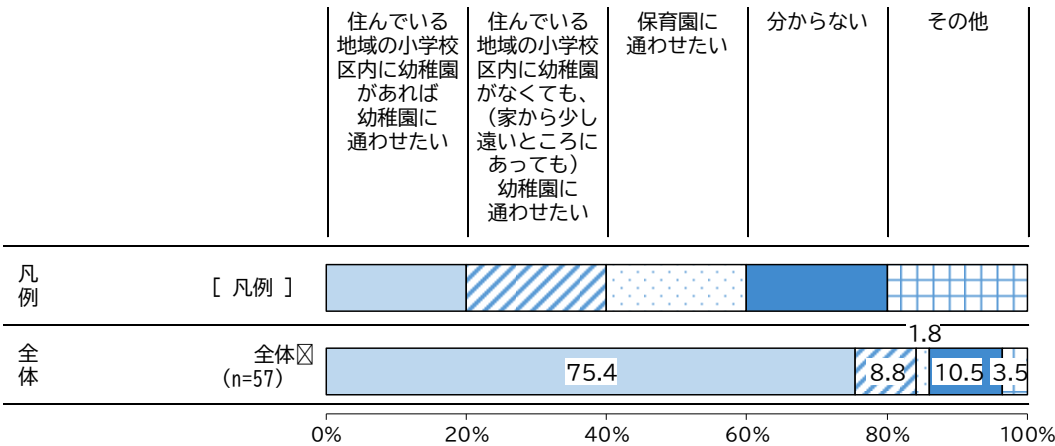
		母数 (n)	幼稚園における預かり保育への要望						
			時間の延長(朝8時15分よりも早い時間の預かりや、夕方18時よりも遅い時間の預かり)	長期休業中の給食の提供	保育内容の充実	料金の負担軽減	その他	分らない	特 に ない
全体		57	12.3	43.9	14.0	15.8	1.8	-	12.3
別 類 型	0～2歳児(小規模保育施設)	6	16.7	△ 66.7	16.7	-	-	-	-
	0～2歳児(未就園)	50	12.0	40.0	14.0	18.0	2.0	-	14.0
年 齢 別	0歳児(2024年度生まれ)	12	△ 25.0	▼ 16.7	16.7	△ 33.3	-	-	8.3
	0歳児(2023年度生まれ)	13	△ 23.1	53.8	-	15.4	-	-	7.7
	1歳児	14	7.1	50.0	△ 28.6	-	-	-	14.3
	2歳児	18	-	50.0	11.1	16.7	5.6	-	16.7
地 区 別	高屋	6	-	▼ 33.3	△ 33.3	-	△ 16.7	-	16.7
	大江	-	-	-	-	-	-	-	-
	稲倉	1	-	-	-	△ 100.0	-	-	-
	県主	-	-	-	-	-	-	-	-
	木之子	3	-	△ 66.7	-	-	-	-	△ 33.3
	荏原	2	-	50.0	-	△ 50.0	-	-	-
	西江原	5	20.0	△ 60.0	-	-	-	-	20.0
	野上	-	-	-	-	-	-	-	-
	青野	-	-	-	-	-	-	-	-
	井原	10	20.0	▼ 30.0	△ 30.0	10.0	-	-	10.0
	出部	24	16.7	45.8	12.5	12.5	-	-	12.5
	芳井	-	-	-	-	-	-	-	-
	美星	6	-	50.0	-	△ 50.0	-	-	-

(5)幼稚園が統廃合された場合の通園意向

問19 今後、井原市内の公立幼稚園が統廃合されたとしても、幼稚園への就園を選択しますか。

- 幼稚園が統廃合された場合の通園意向(図表25)について、「住んでいる地域の小学校区内に幼稚園があれば幼稚園に通わせたい」が75.4%で最も多く、次いで「分からない」が10.5%、「住んでいる地域の小学校区内に幼稚園がなくても、(家から少し遠いところにあっても)幼稚園に通わせたい」が8.8%となっています。

【図表 25 幼稚園が統廃合された場合の通園意向】



その他記入内容
幼稚園でも保育園でも子どもに合いそうな方に通わせたいです。
幼稚園でも保育園でも近いところを希望。

		幼稚園が統廃合された場合の通園意向					
		母数 (n)	わに住せ幼んた稚でいがるあ地れ域はの幼小稚学園校に区通内	もらに住少幼ん幼し稚で稚遠園いがるにとな地通こく域わろてのせにも小たあ、学いつへ校て家区か内	保育園に通わせたい	分からない	その他
全体		57	75.4	8.8	1.8	10.5	3.5
別 類 型	0～2歳児(小規模保育施設)	6	▼ 50.0	-	-	△ 33.3	△ 16.7
	0～2歳児(未就園)	50	78.0	10.0	2.0	8.0	2.0
年 齢 別	0歳児(2024年度生まれ)	12	75.0	8.3	-	16.7	-
	0歳児(2023年度生まれ)	13	△ 92.3	7.7	-	-	-
	1歳児	14	▼ 57.1	14.3	7.1	14.3	7.1
	2歳児	18	77.8	5.6	-	11.1	5.6
	高屋	6	83.3	-	-	-	△ 16.7
地 区 別	大江	-	-	-	-	-	-
	稲倉	1	-	△ 100.0	-	-	-
	県主	-	-	-	-	-	-
	木之子	3	△ 100.0	-	-	-	-
	荏原	2	-	△ 50.0	-	△ 50.0	-
	西江原	5	△ 100.0	-	-	-	-
	野上	-	-	-	-	-	-
	青野	-	-	-	-	-	-
	井原	10	▼ 60.0	10.0	-	△ 30.0	-
	出部	24	79.2	8.3	4.2	8.3	-
	芳井	-	-	-	-	-	-
	美星	6	83.3	-	-	-	△ 16.7

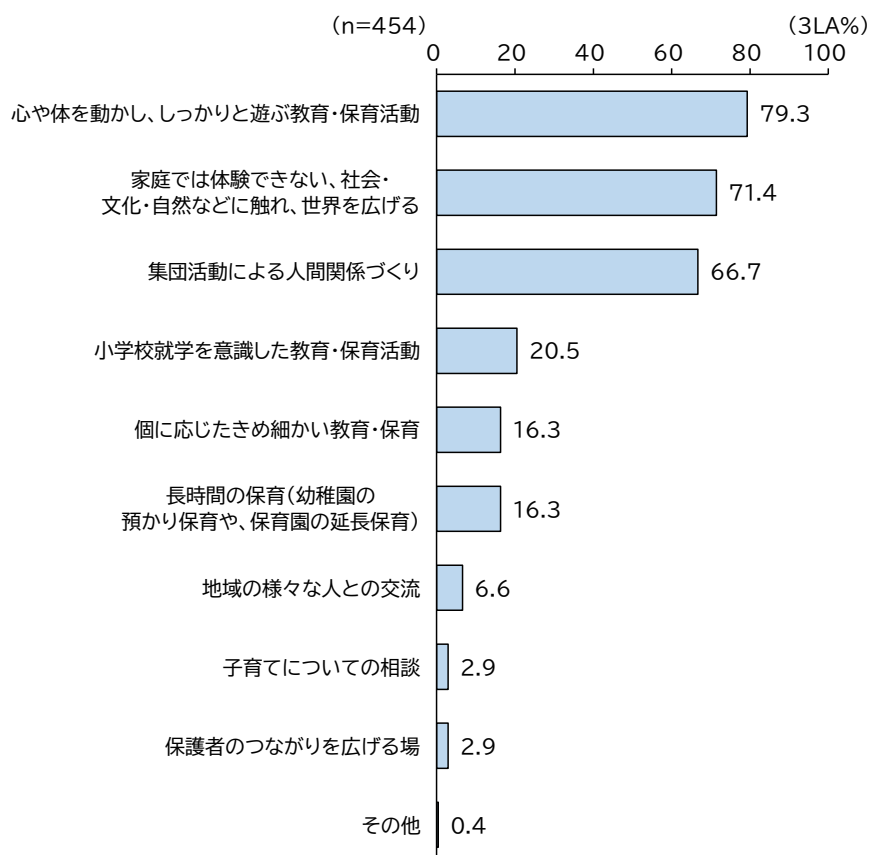
6. 幼稚園・保育園等に期待されること

(1) 幼稚園・保育園等に期待すること

問20 幼稚園・保育園等に期待されることはどのようなことですか。特に期待することを3つまで選択してください。

- 幼稚園・保育園等に期待すること(図表26)について、「心や体を動かし、しっかりと遊ぶ教育・保育活動」が79.3%で最も多く、次いで「家庭では体験できない、社会・文化・自然などに触れ、世界を広げる」が71.4%、「集団活動による人間関係づくり」が66.7%となっています。

【図表 26 幼稚園・保育園等に期待すること】



その他記入内容
松居和さんの著作「ママがいい」グッドブックス出版を拝読したところ、保育に大事なものは、保育者の方々の人格の良さだそうです。確かにそうだなあと感銘を受けたため、幼稚園や保育園の先生方が、気持ち良く働いてくださり、ご負担なく、愛情を持って子どもに接してくださることを期待したいです。 上記の選択肢にある状況を期待する前に、まずは先生方が余裕を持って保育を楽しめる環境を整えてもらうことを期待したいです。

- 末子の所属別にみると、市内幼稚園では「心や体を動かし、しっかりと遊ぶ教育・保育活動」が64.2%、「集団活動による人間関係づくり」が56.7%で、全体に比べて10ポイント以上少ない一方で、「小学校就学を意識した教育・保育活動」(37.3%)、「地域の様々な人との交流」(17.9%)は、全体に比べて10ポイント以上多くなっています。

単位: %

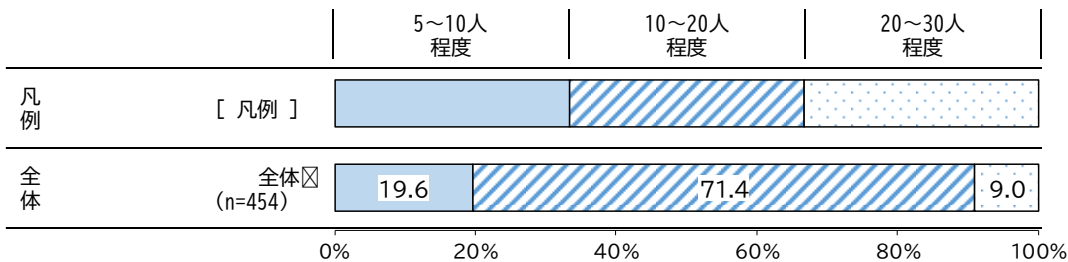
		母数 (n)	幼稚園・保育園等に期待すること									
			自然などには体験できない、世界を広げる・文化・	育・心や体を動かし、しっかりと遊ぶ教育・保育活動	子育てについての相談	個に応じたきめ細かい教育・保育	集団活動による人間関係づくり	小学校就学を意識した教育・保育活動	地域の様々な人との交流	長時間の保育（幼稚園の預かり保育や、保育園の延長保育）	保護者のつながりを広げる場	その他
全体		454	71.4	79.3	2.9	16.3	66.7	20.5	6.6	16.3	2.9	0.4
類型別	0～2歳保育	133	69.2	82.7	3.0	17.3	67.7	16.5	5.3	17.3	2.3	0.8
	0～2歳未就園	141	73.0	80.9	2.8	16.3	68.8	21.3	4.3	15.6	6.4	0.7
	3歳以上保育	108	75.0	81.5	2.8	13.9	69.4	13.0	3.7	15.7	-	-
	3歳以上教育	69	66.7	▼ 65.2	2.9	18.8	▼ 56.5	△ 37.7	△ 17.4	17.4	1.4	-
末子の年齢別	0歳児(2024年度生まれ)	75	77.3	82.7	4.0	10.7	68.0	22.7	4.0	14.7	6.7	-
	0歳児(2023年度生まれ)	66	63.6	81.8	1.5	24.2	68.2	25.8	6.1	12.1	4.5	-
	1歳児	76	73.7	88.2	-	17.1	71.1	14.5	2.6	19.7	-	1.3
	2歳児	58	69.0	72.4	6.9	15.5	65.5	12.1	6.9	19.0	6.9	1.7
	3歳児	59	76.3	69.5	1.7	20.3	72.9	18.6	6.8	15.3	-	-
	4歳児	54	63.0	75.9	1.9	14.8	70.4	△ 40.7	3.7	9.3	1.9	-
	5歳児	66	74.2	80.3	4.5	12.1	▼ 51.5	12.1	△ 16.7	22.7	-	-
末子の所属別	市内幼稚園	67	67.2	▼ 64.2	3.0	17.9	▼ 56.7	△ 37.3	△ 17.9	17.9	1.5	-
	市内保育園	215	71.6	82.8	3.3	14.0	68.4	14.4	4.7	16.3	1.4	0.5
	市内小規模保育事業所	10	70.0	80.0	-	△ 40.0	70.0	20.0	-	20.0	-	-
	市外幼稚園	2	▼ 50.0	△ 100.0	-	△ 50.0	▼ 50.0	△ 50.0	-	-	-	-
	市外保育園・認定こども園・小規模保育事業所・事業所内保育所	16	75.0	75.0	-	25.0	68.8	18.8	6.3	18.8	-	-
	その他	3	66.7	△ 100.0	-	-	66.7	△ 33.3	△ 33.3	-	-	-
	どこにも所属していない(未就園)	141	73.0	80.9	2.8	16.3	68.8	21.3	4.3	15.6	6.4	0.7
地区別	高屋	47	66.0	76.6	4.3	21.3	63.8	27.7	4.3	10.6	4.3	4.3
	大江	18	66.7	72.2	-	▼ 5.6	72.2	△ 33.3	5.6	22.2	5.6	-
	稲倉	11	72.7	▼ 63.6	-	△ 27.3	▼ 54.5	△ 45.5	-	△ 36.4	-	-
	県主	10	△ 90.0	80.0	-	10.0	△ 80.0	30.0	-	10.0	-	-
	木之子	28	67.9	78.6	3.6	21.4	71.4	17.9	-	21.4	-	-
	荏原	18	▼ 55.6	83.3	-	22.2	66.7	22.2	11.1	△ 27.8	-	-
	西江原	78	75.6	83.3	2.6	19.2	69.2	20.5	3.8	9.0	-	-
	野上	3	△ 100.0	△ 100.0	-	-	66.7	-	-	-	-	-
	青野	5	80.0	△ 100.0	-	-	△ 80.0	-	△ 20.0	20.0	-	-
	井原	55	76.4	74.5	5.5	14.5	67.3	20.0	7.3	▼ 5.5	3.6	-
	出部	133	69.9	83.5	1.5	15.8	66.9	15.8	7.5	15.8	5.3	-
	芳井	29	75.9	72.4	6.9	10.3	▼ 51.7	24.1	13.8	△ 31.0	-	-
美星	19	63.2	▼ 68.4	5.3	10.5	68.4	▼ 10.5	15.8	△ 42.1	5.3	-	

(2) 適当だと思う1クラスの園児数

問21 3歳児から5歳児が、クラスにおける「集団や遊びの中で学ぶ」という視点で、理想とする1クラスの園児数を考えた場合、何人くらいが適当だと思いますか。

- 適当だと思う1クラスの園児数(図表27)について、「10～20人程度」が71.4%で最も多く、次いで「5～10人程度」が19.6%、「20～30人程度」が9.0%となっています。
- 末子の所属別にみると、市内保育園では「10～20人程度」が80.0%であるのに対して市内幼稚園では49.3%と少なく、逆に「5～10人程度」が41.8%と市内保育園の8.8%に比べて多くなっています。

【図表 27 適当だと思う1クラスの園児数】



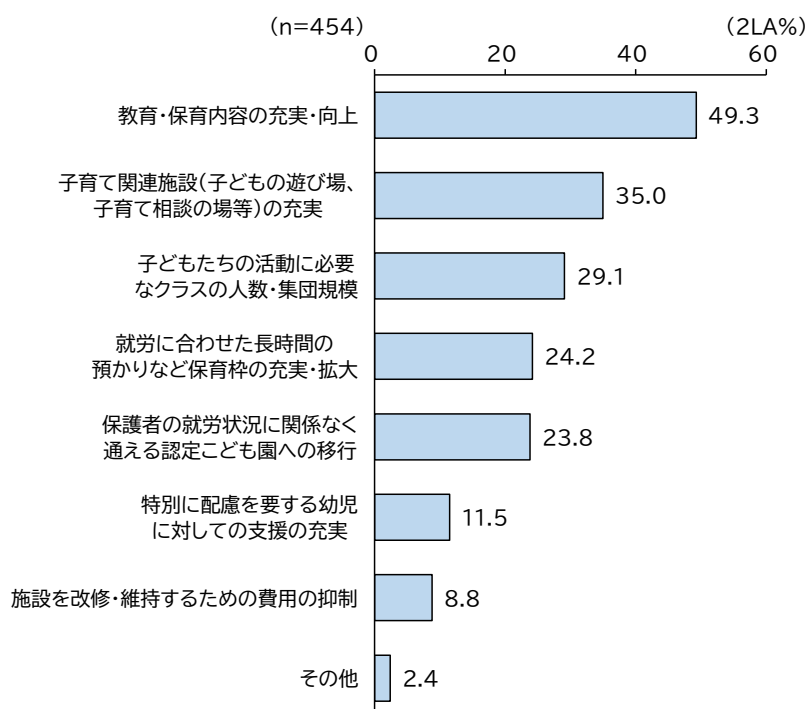
		母数 (n)	適当だと思う1クラスの園児数			単位: %
			5 程 度 1 0 人	1 人 程 度 2 0	2 人 程 度 3 0	
全体		454	19.6	71.4	9.0	
類型別	0～2歳保育	133	13.5	76.7	9.8	
	0～2歳未就園	141	24.1	69.5	6.4	
	3歳以上保育	108	▼ 6.5	△ 82.4	11.1	
	3歳以上教育	69	△ 40.6	▼ 49.3	10.1	
末子の年齢別	0歳児(2024年度生まれ)	75	17.3	78.7	4.0	
	0歳児(2023年度生まれ)	66	24.2	65.2	10.6	
	1歳児	76	15.8	72.4	11.8	
	2歳児	58	20.7	74.1	5.2	
	3歳児	59	22.0	67.8	10.2	
	4歳児	54	18.5	66.7	14.8	
	5歳児	66	19.7	72.7	7.6	
末子の所属別	市内幼稚園	67	△ 41.8	▼ 49.3	9.0	
	市内保育園	215	▼ 8.8	80.0	11.2	
	市内小規模保育事業所	10	10.0	△ 90.0	-	
	市外幼稚園	2	-	▼ 50.0	△ 50.0	
	市外保育園・認定こども園・小規模保育事業所・事業所内保育所	16	△ 31.3	62.5	6.3	
	その他	3	△ 66.7	▼ 33.3	-	
	どこにも所属していない(未就園)	141	24.1	69.5	6.4	
地区別	高屋	47	19.1	74.5	6.4	
	大江	18	△ 33.3	▼ 61.1	5.6	
	稲倉	11	18.2	△ 81.8	-	
	県主	10	△ 30.0	70.0	-	
	木之子	28	25.0	67.9	7.1	
	荏原	18	△ 33.3	▼ 61.1	5.6	
	西江原	78	15.4	67.9	16.7	
	野上	3	△ 33.3	▼ 33.3	△ 33.3	
	青野	5	20.0	▼ 60.0	△ 20.0	
	井原	55	29.1	65.5	5.5	
	出部	133	10.5	78.9	10.5	
	芳井	29	27.6	69.0	3.4	
	美星	19	21.1	73.7	5.3	

(3)公立就学前教育・保育施設の方針検討にあたり重視すべきこと

問22 今後、井原市が、公立の就学前教育・保育施設(幼稚園・保育園等)の方針を検討するにあたり、どういった視点を重視して検討すべきだと思いますか。特に重視することを2つまでご記入ください。

- 公立就学前教育・保育施設の方針検討にあたり重視すべきこと(図表28)について、「教育・保育内容の充実・向上」が49.3%で最も多く、次いで「子育て関連施設(子どもの遊び場、子育て相談の場等)の充実」が35.0%、「子どもたちの活動に必要なクラスの人数・集団規模」が29.1%、「就労に合わせた長時間の預かりなど保育卒の充実・拡大」(24.2%)、「保護者の就労状況に関係なく通える認定こども園への移行」(23.8%)となっています。

【図表 28 公立就学前教育・保育施設の方針検討にあたり重視すべきこと】



その他記入内容	件数
保育士の確保・補充、保育士の労働環境の充実。	4
親の役をなくすこと。そうすれば幼稚園も増えるはず幼稚園の方が教育に絶対いいと思っています。	1
1人1人を大事にし、個々を尊重した保育。	1
まずは入所の希望の受け皿を増やしてほしい。希望通り入園させてほしい。	1
ひとり親なので、入園準備から入園後も高い料金を支払っていくのは難しい。収入が少ないので一番苦しい。	1
通いやすさ(場所、通園方法)。	1
小学校区を意識した、保育園入園への仕組みづくり：現在、高屋小学校区に住んでいながら、高屋地区の保育園への入園が厳しいと言われている。他の校区にある保育園に入園したとしても、その先の小学校での人間関係につながらないため、小学校区をある程度意識してもらいたい。	1
本当に保育を必要としているかどうかの調査：現状、保育園への入園は、早い者勝ちのような状況になっていると感じる。保育園への申込を行う際の就労実態のみでなく、年間を通して保護者の就労実態を把握することで、本当に保育が必要かどうかを判断する必要があるのではないかと考える。市民は税金を納めているにも関わらず、市外の人が井原市内の保育園を利用し、市民が受けられない恩恵を受けているのはおかしい。子どもとしっかり向き合った上で2歳から保育園に入園させ、復職したいと考えているが、うまく進みそうにない。	1

- 類型別にみると、0～2歳保育では「就労に合わせた長時間の預かりなど保育卒の充実・拡大」が36.1%で全体に比べて多くなっています。
- 末子の年齢別にみると、0歳児(2024 年度生まれ)では「子育て関連施設(子どもの遊び場、子育て相談の場等)の充実」が46.7%で全体に比べて多く、4 歳児では「子どもたちの活動に必要なクラスの人数・集団規模」が44.4%で全体に比べて多くなっています。

単位:%

		母数 □ (n)	公立就学前教育・保育施設の方針検討にあたり重視すべきこと							
			実 教 育 ・ 向 上	談 も の 育 場 遊 び 場 等 の 充 実	子 の 育 て 関 連 の 施 設 （ 子 育 て 相 ど	団 要 子 規 模 な く も う ち の 人 数 ・ 活 動 に 必	た 施 め 設 を 改 修 の 費 用 の 抑 制 す る	充 の 就 実 預 ・ か に 合 大 な わ せ 保 長 卒 時 の 間	実 児 特 に 別 に 対 し 配 て の 支 援 す る 充 幼	も 係 園 へ の 通 の 移 行 認 定 こ ど 関
全体		454	49.3	35.0	29.1	8.8	24.2	11.5	23.8	2.4
類 型 別	0～2歳保育	133	42.9	34.6	27.1	8.3	△ 36.1	13.5	21.1	1.5
	0～2歳未就園	141	51.1	38.3	26.2	8.5	22.0	9.2	27.7	4.3
	3歳以上保育	108	52.8	32.4	32.4	12.0	21.3	8.3	21.3	1.9
	3歳以上教育	69	52.2	33.3	33.3	5.8	▼ 11.6	15.9	24.6	1.4
末 子 の 年 齢 別	0歳児(2024年度生まれ)	75	50.7	△ 46.7	25.3	8.0	26.7	4.0	24.0	4.0
	0歳児(2023年度生まれ)	66	47.0	30.3	24.2	16.7	25.8	12.1	25.8	3.0
	1歳児	76	48.7	31.6	30.3	2.6	31.6	15.8	19.7	2.6
	2歳児	58	39.7	37.9	25.9	6.9	31.0	13.8	31.0	1.7
	3歳児	59	52.5	32.2	27.1	10.2	18.6	13.6	27.1	1.7
	4歳児	54	48.1	29.6	△ 44.4	13.0	14.8	11.1	20.4	1.9
	5歳児	66	57.6	34.8	28.8	6.1	18.2	10.6	19.7	1.5
末 子 の 所 属 別	市内幼稚園	67	52.2	32.8	34.3	6.0	▼ 10.4	16.4	23.9	1.5
	市内保育園	215	48.8	34.0	29.3	11.2	27.4	11.2	19.1	1.9
	市内小規模保育事業所	10	▼ 10.0	△ 50.0	-	-	△ 80.0	20.0	30.0	-
	市外幼稚園	2	50.0	△ 50.0	-	-	△ 50.0	-	△ 50.0	-
	市外保育園・認定こども園・ 小規模保育事業所・事業所内保育所	16	50.0	▼ 18.8	△ 50.0	-	25.0	6.3	△ 43.8	-
	その他	3	△ 66.7	33.3	33.3	-	-	△ 33.3	33.3	-
	どこにも所属していない(未就園)	141	51.1	38.3	26.2	8.5	22.0	9.2	27.7	4.3
地 区 別	高屋	47	△ 68.1	38.3	27.7	6.4	21.3	6.4	19.1	2.1
	大江	18	▼ 38.9	▼ 11.1	△ 44.4	5.6	16.7	△ 27.8	33.3	5.6
	稲倉	11	45.5	▼ 18.2	△ 45.5	9.1	△ 45.5	9.1	27.3	-
	県主	10	40.0	40.0	△ 60.0	-	20.0	20.0	20.0	-
	木之子	28	42.9	△ 46.4	28.6	7.1	17.9	10.7	△ 35.7	-
	荏原	18	50.0	△ 61.1	38.9	-	▼ 11.1	11.1	22.2	-
	西江原	78	51.3	37.2	26.9	15.4	▼ 14.1	12.8	25.6	1.3
	野上	3	▼ 33.3	-	33.3	△ 33.3	△ 66.7	-	33.3	-
	青野	5	△ 100.0	▼ 20.0	△ 40.0	-	20.0	20.0	-	-
	井原	55	50.9	▼ 16.4	△ 40.0	14.5	18.2	14.5	▼ 12.7	5.5
	出部	133	43.6	40.6	21.1	6.8	30.1	11.3	22.6	3.8
	芳井	29	51.7	27.6	27.6	3.4	△ 41.4	3.4	27.6	-
	美星	19	42.1	42.1	▼ 15.8	10.5	△ 36.8	5.3	△ 42.1	-

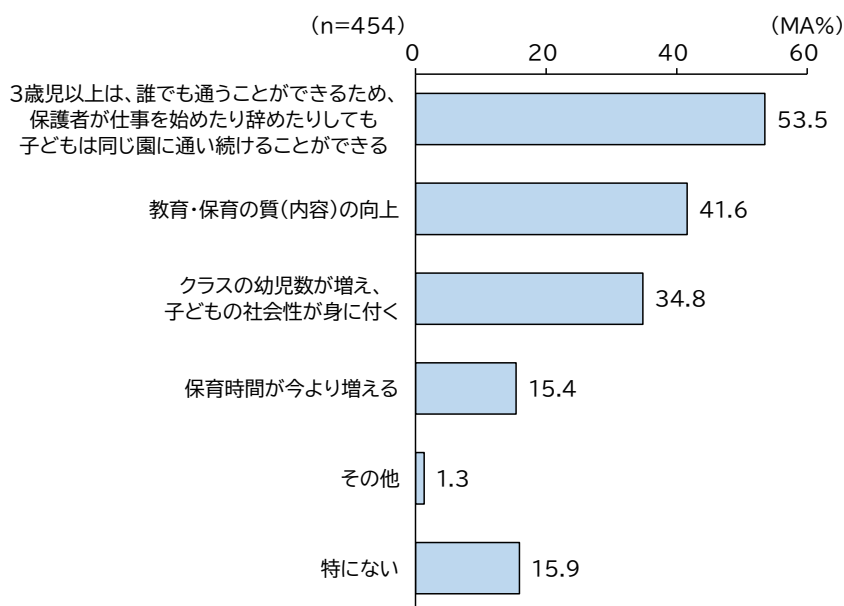
(4)認定こども園となった場合に期待すること・不安に思うこと

問23 今後、井原市の就学前施設が公立・民間にかかわらず、認定こども園となった場合、期待することまたは不安に思うことは何ですか。(複数回答可)

■ 認定こども園となった場合に期待すること

- 認定こども園となった場合に期待すること(図表29)について、「3歳児以上は、誰でも通うことができるため、保護者が仕事を始めたり辞めたりしても子どもは同じ園に通い続けることができる」が53.5%で最も多く、次いで「教育・保育の質(内容)の向上」が41.6%、「クラスの幼児数が増え、子どもの社会性が身に付く」が34.8%となっています。

【図表 29 認定こども園となった場合に期待すること】



その他記入内容
長期休暇中の給食の提供。
親の役がなくなることが大事。
幼稚園保育園のギャップがなくなる事によって、スムーズな小学校への移行に繋がると思う。
よく分からない。
発達がゆっくりであるため、今の幼稚園みたいに少人数の方が親としても安心でもあり、子どもも過ごしやすいと思います。
保護者の就労に対する難しさが少し改善する。

- 類型別にみると、3歳以上保育では「3歳児以上は、誰でも通うことができるため、保護者が仕事を始めたり辞めたりしても子どもは同じ園に通い続けることができる」(42.6%)と「クラスの幼児数が増え、子どもの社会性が身に付く」(23.1%)がそれぞれ全体に比べて10ポイント以上少なくなっているのに対して、3歳以上教育では「3歳児以上は、誰でも通うことができるため、保護者が仕事を始めたり辞めたりしても子どもは同じ園に通い続けることができる」(63.8%)と「クラスの幼児数が増え、子どもの社会性が身に付く」(50.7%)がそれぞれ全体に比べて10ポイント以上多くなっています。

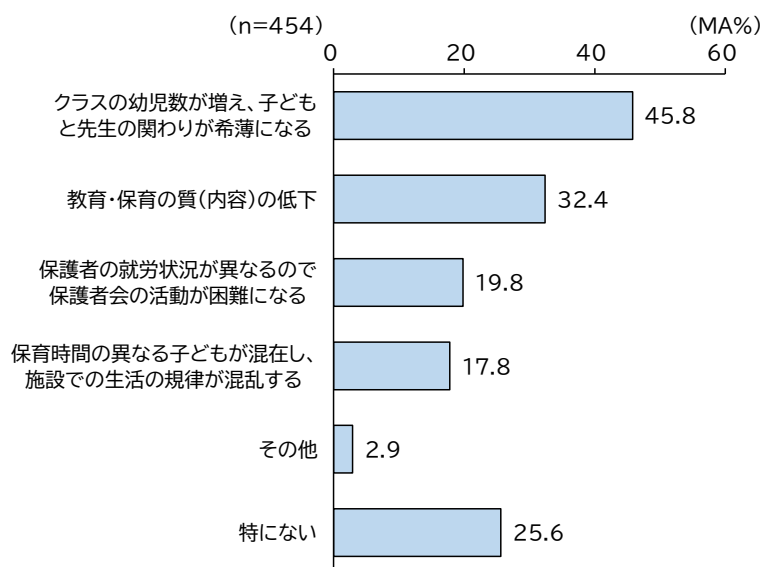
単位:%

		母数 (n)	認定こども園となった場合に期待すること					
			教育・保育の質（内容）の向上	付くクラスの幼児数が増え、子どもの社会性が身に	保育時間が今より増える	は保3歳児以上は、誰でも通うことができる、は同じ園に通い始めること、は通い始めても通うことができる、		

■ 認定こども園となった場合に不安に思うこと

- 認定こども園となった場合に不安に思うこと(図表30)について、「クラスの幼児数が増え、子どもと先生の関わりが希薄になる」が45.8%で最も多く、次いで「教育・保育の質(内容)の低下」が32.4%、「特にない」が25.6%となっています。

【図表 30 認定こども園となった場合に不安に思うこと】



その他記入内容
幼稚園は幼稚園の良さ、保育園には保育園の良さがあるため、選択肢を急激に減らすことだけは避けてほしい。
送迎。
幼稚園に不満はないはず。役があることが問題。
よく分からない。
どこの保育園でも病後があればいい。
幼稚園の良さがなくなる。
保育の仕方。
預かる時間、給食、弁当。
保育時間が就労理由でなく長時間保育になってしまう子どもへの負担。
子どもが増えるのに対して、保育者の人数が足りるのか不安。
子どもがどこの所属になるのか、1番近いところに入れなくなる可能性がさらに高くなるのか不安。
西江原幼稚園は子どもも多いのでもっと先生を充実して受け入れ人数を増やして欲しい。
先生への負担が増えてしまわないか。

- 末子の所属別にみると、市内幼稚園と市内保育園を比べると、「その他」を除くすべての選択肢で、市内幼稚園の方が回答割合が多くなっています。特に「教育・保育の質(内容)の低下」は、市内幼稚園が43.3%、市内保育園が28.8%と14.5ポイントの差になっています。

単位: %

		母数 (n)	認定こども園となった場合に不安に思うこと					
			教育・保育の質（内容）の低下	生クラスの幼児数が希薄になる、子どもと先生	施設での生活の異なる子どもが混在し、	保護者の就労状況が異なるので保護者の活動が困難になる	その他	特にな
全体		454	32.4	45.8	17.8	19.8	2.9	25.6
類型別	0～2歳保育	133	30.1	48.1	13.5	21.8	4.5	23.3
	0～2歳未就園	141	33.3	47.5	18.4	19.9	2.1	27.0
	3歳以上保育	108	27.8	38.0	19.4	15.7	1.9	32.4
	3歳以上教育	69	42.0	49.3	23.2	23.2	2.9	17.4
	0歳児(2024年度生まれ)	75	29.3	45.3	13.3	22.7	1.3	29.3
末子の年齢別	0歳児(2023年度生まれ)	66	39.4	54.5	19.7	12.1	1.5	27.3
	1歳児	76	31.6	47.4	14.5	19.7	3.9	23.7
	2歳児	58	25.9	44.8	17.2	29.3	6.9	19.0
	3歳児	59	30.5	45.8	18.6	20.3	1.7	25.4
	4歳児	54	37.0	46.3	22.2	16.7	3.7	18.5
末子の所属別	5歳児	66	33.3	36.4	21.2	18.2	1.5	33.3
	市内幼稚園	67	△ 43.3	49.3	23.9	23.9	3.0	16.4
	市内保育園	215	28.8	40.9	17.7	19.1	3.3	28.8
	市内小規模保育事業所	10	30.0	△ 70.0	10.0	△ 30.0	-	-
	市外幼稚園	2	-	50.0	-	-	-	△ 50.0
	市外保育園・認定こども園・小規模保育事業所・事業所内保育所	16	31.3	△ 62.5	-	12.5	6.3	25.0
	その他	3	33.3	△ 66.7	-	-	-	-
地区別	どこにも所属していない(未就園)	141	33.3	47.5	18.4	19.9	2.1	27.0
	高屋	47	27.7	55.3	19.1	12.8	6.4	21.3
	大江	18	33.3	▼ 27.8	22.2	△ 38.9	5.6	▼ 11.1
	稲倉	11	36.4	45.5	△ 36.4	▼ 9.1	-	△ 36.4
	県主	10	▼ 20.0	▼ 10.0	20.0	10.0	10.0	△ 50.0
	木之子	28	△ 46.4	△ 57.1	△ 28.6	28.6	-	21.4
	荏原	18	▼ 22.2	50.0	▼ 5.6	16.7	-	22.2
	西江原	78	29.5	42.3	12.8	19.2	2.6	26.9
	野上	3	-	▼ 33.3	-	△ 66.7	△ 33.3	-
	青野	5	△ 60.0	△ 60.0	-	-	-	20.0
	井原	55	41.8	45.5	25.5	14.5	3.6	21.8
	出部	133	24.8	46.6	17.3	23.3	0.8	27.1
	芳井	29	△ 44.8	55.2	13.8	17.2	3.4	31.0
美星	19	△ 52.6	▼ 31.6	10.5	15.8	5.3	31.6	

幼児の教育・保育に関する調査 ご協力をお願い

井原市では、きめ細かな教育・保育や小学校への接続を重視して公立幼稚園の学区制を維持してきましたが、幼稚園児数の急激な減少に伴い、集団活動に支障をきたすようになってきています。そのため、幼稚園の統廃合や認定こども園の設置を含めた、今後の公立幼稚園、公立保育園のあり方について検討しています。

そこで、就学前のお子さんがおられる家庭を対象に就学前教育・保育に関する考えなどをおたずねし、今後の幼児教育・保育の充実のために生かしていきたいと考えております。

本調査の結果は、すべて統計的に処理を行い、目的以外に使用することは一切ありません。また、個人情報や地域的な情報が外部に出ることも一切ありません。

お忙しい中大変恐縮ですが、調査の目的をご理解いただき、広く皆様のご意見が反映できるよう、ご協力よろしくお願い申し上げます。

令和7年2月



井 原 市

この調査（アンケート）は、インターネットでご回答ください。

二次元コードを読み取り、インターネットサイトにアクセスしてアンケートに回答してください。

◆回答期限：令和7年2月20日（木）まで◆

この調査の回答から回答者のメールアドレスなどの情報を収集することはありません。

<回答方法>

1. 右の二次元コードを読み取り、回答ページへアクセスしてください。
2. アクセス後、画面の指示にしたがって回答してください。
3. 回答は1回限りで、送信後の修正はできませんので、ご注意ください。



（二次元コード）

設問内容は裏面をごらんください。

問い合わせ先

井原市教育委員会 学校教育課

〒715-8601 井原市井原町311番地1 電話 0866-62-9532（直通）

共通設問問 1 あなたがお住まいの地区

- 1 井原市()町

共通設問問 2 家族構成

- 1 二世帯世帯(子どもと親)
2 三世帯世帯(子どもと親と祖父母)
3 その他

あなたのご家庭にいるお子さんについてうかがいます。

共通設問問 3 就学前のお子さんの人数は何人ですか。

- 1 1人
2 2人
3 3人
4 4人

※ 就学前のお子さんが複数人いらっしゃる場合、それぞれのお子さんについて、問8以降の設問にお答えください。1人目のお子さんに関する質問に最後まで回答したら、次に 2 人目のお子さんに関する質問に回答してください。3人目以上のお子さんについても同様に回答をお願いします。

問 4 就学前で1人目のお子さんの生年月日(2人目のお子さんの生年月日…)

西暦 年 月生まれ

問 5 お子さんの現在の所属

- 1 市内幼稚園
2 市内保育園
3 市内小規模保育事業所(美星保育園、つむぎキッズ、せいびキッズ小規模保育園)
4 市外幼稚園
5 市外保育園・認定こども園・小規模保育事業所・事業所内保育所
6 その他()
7 どこにも所属していない(未就園)

→1、4を選択した場合は、**幼稚園保護者用**に回答してください。

→2、5を選択した場合は、**保育園保護者用**に回答してください。

→3、6、7を選択した場合は、**小規模保育事業所・未就園保護者用**に回答してください。

幼稚園保護者用問6 お子さんの入園にあたり、見学・検討した施設について該当するものをすべて選択してください。

- 1 市内幼稚園
- 2 市内保育園
- 3 市外幼稚園
- 4 市外保育園・認定こども園
- 5 その他()

幼稚園保護者用問 7 幼稚園入園までの状況についてお答えください。

- 1 入園までは自宅で保育していた(保護者が子どもを養育していた)
- 2 保育園・小規模保育事業所等に通っていた
- 3 その他()

幼稚園保護者用問 7-1 問 7 で1を選んだ方に質問します。幼稚園入園まで、自宅で保育をしていた理由を選択してください。(複数選択可)

- 1 3歳までは自分で子育てをしたかったから
- 2 保育園に空きがなく、入園できなかったから
- 3 保育園に通園できる要件を満たしていないため入園できなかったから
- 4 保育園までの送迎ができないから
- 5 保育園に通うための費用(体操服や教材など)がかかるから
- 6 その他()

幼稚園保護者用問 7-2 問 7 で2を選んだ方に質問します。保育園・小規模保育事業所等から幼稚園に入園した理由を選択してください。(複数選択可)

- 1 幼稚園の方が教育・保育内容が優れていると思ったから
- 2 幼稚園の方が少人数で先生の目が行き届いていると思ったから
- 3 2歳児までが対象の施設に通っていたため、3歳児からは幼稚園に入園するしかなかったから
- 4 幼稚園は小学校区にあり、送迎をしなくてよいから
- 5 同じ小学校に通う同級生が多く、入学後が安心だから
- 6 幼稚園の預かり保育の時間で仕事に支障がないから
- 7 その他()

幼稚園保護者用問 8 お子さんを通わせるのに、現在通園している幼稚園を選んだ理由について、特に重視したことを 3 つまで選択してください。

- 1 自宅から近いから
- 2 18時まで預かってもらえるから
- 3 保育園に入園できなかったから
- 4 近所の知り合いの子や兄姉が通っているから
- 5 園の環境や保育の内容がわが子に合っているから
- 6 様々な行事や保育・教育内容が充実しているから
- 7 先生の態度や対応が安心できるから
- 8 小学校に就学した際、戸惑いが少なくなるように生活を工夫しているから

9 その他()

幼稚園保護者用問 9 預かり保育の利用に関して、特に要望するものは何ですか。1つ選択してください。

- 1 時間の延長(朝8時15分よりも早い時間の預かりや、夕方 18 時よりも遅い時間の預かり)
- 2 保育内容の充実
- 3 料金の負担軽減
- 4 長期休業中の給食の提供
- 5 その他()
- 6 特にない

幼稚園保護者用問 10 今通っている幼稚園が統廃合されたとしても幼稚園に通いますか。
※現在5歳児(年長)のお子さんの場合は、今そうなった場合と仮定してお答えください。

- 1 住んでいる地域の小学校区内に幼稚園があれば幼稚園に通わせる
- 2 住んでいる地域の小学校区内に幼稚園がなくても、(家から少し遠いところにあっても)幼稚園に通わせる
- 3 保育園に通わせる
- 4 分からない
- 5 その他()

幼稚園保護者用問 11 今通っている幼稚園が統廃合され、家から離れた幼稚園に通うことになった場合、家族の誰かがお子さんの送迎をできますか。

- 1 送迎できる
- 2 送迎できない
- 3 分からない

保育園保護者用問 12 お子さんの入園にあたり、見学・検討した施設について該当するものをすべて選択してください。

- 1 市内幼稚園
- 2 市内保育園
- 3 市内小規模保育事業所(美星保育園、つむぎキッズ、せいびキッズ小規模保育園)
- 4 市外幼稚園
- 5 市外保育園・認定こども園・小規模保育事業所・事業所内保育所
- 6 その他()

保育園保護者用問 13 お子さんが所属しているクラスを選択してください

- 1 3歳児未満(0・1・2歳児)クラス

2 3歳児以上(3・4・5歳児)クラス

保育園保護者用問 13-1 問 13 で1を選んだ方にお尋ねします。お子さんが3歳児以上になった時、幼稚園に通わせようと思いますか。

- 1 思う
- 2 思わない
- 3 まだ分からない

保育園保護者用問 13-2 問 13 で2を選んだ方にお尋ねします。幼稚園ではなく、保育園に通っている理由を選択してください。(複数選択可)

- 1 子どもが大人数の集団の中で生活できるから
- 2 仕事のために子どもを預けなくてはならないから
- 3 保育園の方が教育・保育内容が優れていると思ったから
- 4 幼稚園に比べて保育園の方が先生の数が多く、目が行き届いていると思ったから
- 5 幼稚園の開園時間や預かり保育の時間(18時まで)では、仕事に支障が生じるから
- 6 幼稚園より費用が安いから
- 7 その他()

保育園保護者用問 14 お子さんを通わせるのに、現在通園している保育園を選んだ理由について、特に重視したことを3つまで選択してください。

- 1 園の環境や保育の内容がわが子に合っているから
- 2 遅い時間まで預かってもらえるから
- 3 近所の知り合いの子や兄姉が通っているから
- 4 様々な行事や保育・教育内容が充実しているから
- 5 小学校に就学した際、戸惑いが少なくなるように生活を工夫しているから
- 6 職場への通勤途中にあり、利便性がよいから
- 7 先生の態度や対応が安心できるから
- 8 土曜日も預かってもらえるから
- 9 その他()

未就園・小規模保育所 保護者用問 15 お子さんの入園にあたり、あなたは次のどの施設を選びたいですか。1つ選択してください。

現在、お子さんが0～2歳で、小規模保育施設(美星保育園・つむぎキッズ・せいびキッズ小規模保育園)に通っている場合は、3歳児以降に入園する園を想定してください。

- 1 市内幼稚園
- 2 市内保育園
- 3 市内小規模保育事業所(美星保育園、つむぎキッズ、せいびキッズ小規模保育園)
- 4 市外幼稚園
- 5 市外保育園・認定こども園・市外小規模保育事業所・事業所内保育所

6 その他()

未就園・小規模保育所 保護者用問 16 問 15 の設問で選ぶ施設において、どのようなことを重視しますか。特に重視することを3つまで選択してください。

- 1 園の環境や保育内容がわが子に合っている
- 2 金銭的負担が少ない
- 3 近所の知り合いの子や兄姉が通っている
- 4 様々な行事や保育・教育内容が充実している
- 5 3歳児未満でも預かってくれる
- 6 小学校に就学した際、戸惑いが少なくなるように生活を工夫している
- 7 職場への通勤途中にあり、利便性がよい
- 8 自宅から近い
- 9 先生の態度や対応が安心できる
- 10 長時間預かってくれる
- 11 土曜日も預かってくれる
- 12 その他()

未就園・小規模保育所 保護者用問 17 井原市の公立幼稚園を利用すると考えた場合、教育時間終了後や長期休業中の預かり保育を利用したいですか。
(現在、教育時間終了後の概ね13時30分から18時まで、夏休み・冬休み・春休みは8時15分から18時まで実施。幼稚園に通っている場合、必要であれば誰でも利用できます。)

- 1 利用したい
- 2 利用しない
- 3 分からない

未就園・小規模保育所 保護者用問 15 で 1 の入園を希望する施設に「市内幼稚園」を選んだ方にお尋ねします。問 18 井原市の公立幼稚園の預かり保育の利用に関して、特に要望するものは何ですか。1つ選択してください。

- 1 時間の延長(朝8時15分よりも早い時間の預かりや、夕方18時よりも遅い時間の預かり)
- 2 長期休業中の給食の提供
- 3 保育内容の充実
- 4 料金の負担軽減
- 5 その他()
- 6 分からない
- 7 特にない

未就園・小規模保育所 保護者用問 19 今後、井原市内の公立幼稚園が統廃合されたとしても、幼稚園への就園を選択しますか。

- 1 住んでいる地域の小学校区内に幼稚園があれば幼稚園に通わせたい

- 2 住んでいる地域の小学校区内に幼稚園がなくても、(家から少し遠いところにあっても)幼稚園に通わせたい
- 3 保育園に通わせたい
- 4 分からない
- 5 その他()

共通設問問 20 幼稚園・保育園等に期待されることはどのようなことですか。特に期待することを3つまで選択してください。

- 1 家庭では体験できない、社会・文化・自然などに触れ、世界を広げる
- 2 心や体を動かし、しっかりと遊ぶ教育・保育活動
- 3 子育てについての相談
- 4 個に応じたきめ細かい教育・保育
- 5 集団活動による人間関係づくり
- 6 小学校就学を意識した教育・保育活動
- 7 地域の様々な人との交流
- 8 長時間の保育(幼稚園の預かり保育や、保育園の延長保育)
- 9 保護者のつながりを広げる場
- 10 その他()

共通設問問 21 3歳児から 5 歳児が、クラスにおける「集団や遊びの中で学ぶ」という視点で、理想とする1クラスの園児数を考えた場合、何人くらいが適当だと思いますか。

- 1 5～10人程度
- 2 10～20人程度
- 3 20～30人程度

共通設問問 22 今後、井原市が、公立の就学前教育・保育施設(幼稚園・保育園等)の方針を検討するにあたり、こういった視点を重視して検討すべきだと思いますか。特に重視することを2つまでご記入ください。

- 1 教育・保育内容の充実・向上
- 2 子育て関連施設(子どもの遊び場、子育て相談の場等)の充実
- 3 子どもたちの活動に必要なクラスの人数・集団規模
- 4 施設を改修・維持するための費用の抑制
- 5 就労に合わせた長時間の預かりなど保育枠の充実・拡大
- 6 特別に配慮を要する幼児に対しての支援の充実
- 7 保護者の就労状況に関係なく通える認定こども園※への移行
- 8 その他()

※認定こども園:0歳から就学前までの子どもが通える施設です。

3歳児から5歳児は、保護者の就労等に関係なく通うことができます。

0歳児から2歳児は、保護者の就労等、保育の必要がある子どもが通うことができます。

共通設問問 23 今後、井原市の就学前施設が公立・民間にかかわらず、認定こども園となった場合、期待することまたは不安に思うことは何ですか。(複数回答可)

共通設問問 23-1 <期待すること>

- 1 教育・保育の質(内容)の向上
- 2 クラスの幼児数が増え、子どもの社会性が身に付く
- 3 保育時間が今より増える
- 4 3歳児以上は、誰でも通うことができるため、保護者が仕事を始めたり辞めたりしても子どもは同じ園に通い続けることができる。
- 5 その他()
- 6 特にない

共通設問問 23-2 <不安に思うこと>

- 1 教育・保育の質(内容)の低下
- 2 クラスの幼児数が増え、子どもと先生の関わりが希薄になる
- 3 保育時間の異なる子どもが混在し、施設での生活の規律が混乱する
- 4 保護者の就労状況が異なるので保護者会の活動が困難になる
- 5 その他()
- 6 特にない